

北上市立博物館 **50**周年記念誌

北上市立博物館**50**周年記念誌





ごあいさつ

北上市長

八重樫 浩文

北上市立博物館は、令和5年度に開館50周年を迎える、令和6年度より51年目のあゆみをスタートさせております。誠に喜ばしいことであり、皆様の深いご理解とご協力に心より御礼申し上げます。

当館は昭和48年春、県下に先駆けて、郷土の歴史や文化、豊かな自然を学ぶことができる総合博物館として開館しました。おかげさまで令和5年春には150万人の来館者を達成しております。

東北一の大河・北上川が市の中央部を南北に流れ、雄大な奥羽山脈を見渡す豊饒な大地のもと、当市では古来より様々な文化が育まれてきました。江戸時代の北上川舟運をはじめ、交通の要衝地として発展した当市域は、流域のまちとまちをつなぎ拠点でもありました。こうした歴史をふまえて、長らく「北上川流域の自然と文化」をテーマとした常設展や各種事業を展開し、平成4年には「みちのく民俗村」を開村しております。北上川流域及び周辺地域の古民家10棟を移築復元した整備事業は画期的な取り組みとなりました。

民俗村は、平成27年度より商工部門の管理となり、一層視野を広げた事業展開が図られております。

さらに、いわて国体が開催された平成28年秋にはリニューアルを行い、平泉に先立ち仏教文化が開花した国見山廃寺の展示を中心据え、当市の歴史的な特徴を明確に伝える常設展にしました。また、八天遺跡や江釣子古墳群の出土品をはじめ、豊富な実物資料を紹介して史跡への興味をうながす展示となっております。同時に和賀分館を新設し、従来の通史展示や自然科学系の展示を行っております。

この記念誌を通して、当館が半世紀の中で積み重ねてきたあゆみをご覧いただければ幸いです。これまでの蓄積を市民の皆さんと共有し、当市の魅力発見や発信につながるよう、さらなる博物館活動を展開してまいりたいと存じます。今後とも皆さまのご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年度の開館50周年記念事業を経て、令和6年度は記念誌を刊行する運びとなりました。関係者各位のご尽力とご支援により、50周年を迎える、さらなるあゆみを踏み出せていることを嬉しく思いますとともに、衷心より感謝申し上げます。

北上市立博物館は、昭和48年春、岩手県内における内陸部初の総合博物館として開館しました。開館以来、様々な資料の収集を行うとともに調査研究に取り組み、その成果に基づいた展示会や学習会を開催し、幅広い年代の学びに応えながら、当市の社会教育の一翼を担ってまいりました。また、昔の暮らしを伝える収蔵品等をもとに、学校教育に資する取り組みも行っております。

この度刊行する記念誌では、半世紀の当館のあゆみが通覧できるようになっております。展示会の記録においては、八天遺跡展、南部領伊達領境塚展、北上地方のオシラサマ展、北上・和賀地方の山菜展等、様々な分野にわたるテーマに焦点が当てられています。さらに、学習会の記録においては、歴



ごあいさつ

北上市教育委員会教育長

船 田 浩

史探訪会や自然観察会をはじめ、縄文体験教室、昆虫標本作成等、現地見学や体験を大切にした活動を行ってきたことをご覧いただけます。

開館50周年となる令和5年4月から、博物館法の改正により、現代社会に対応し、デジタル技術等を活用した新しい鑑賞・体験モデルの構築や、地域・各種団体等とのつながりを深めていくような取り組みが求められています。当館においても、これまで培ってきた教育普及事業のノウハウや豊富な実物資料を基盤として、時代の変化に柔軟に対応しながら、郷土の歴史や自然に対して大きな誇りをもっていただけるよう、より一層、博物館運営の充実に努めていく所存です。これからも変わらぬご指導・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



博物館50周年記念誌の発刊に寄せて

北上市議会議長

菊 池 勝

北上市立博物館50周年記念誌の発刊に当たり、北上市議会を代表いたしまして、ごあいさつを申し上げます。

北上市立博物館は、昭和48年4月に岩手県内陸部初の総合博物館として開館以降、価値ある資料の展示を通して、北上の自然や歴史、文化を伝え、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与してまいりました。

この間、50年の長きにわたり運営を支えて来られた関係者の皆様のご尽力に対しまして、先ずもって敬意を表するものであります。

市立博物館では、常設の資料展示と併せ、様々な企画展、学習会や観察会などのイベントも開催されており、博物館として期待される教育や学術の振興が図られておりますのはもちろんのこと、平成4年10月に開村した「みちのく民俗村」、隣接する「展勝地」と合わせ、北上の魅力を発信する観光資源とし

ても、その役割を担っております。

平成28年9月には、本館がリニューアルされ、これまで以上に工夫を凝らした展示から、国見山廃寺の歴史や文化を体感できるなど、郷土の歴史や文化をより深く学ぶことができるようになり、私も楽しく拝見させていただきました。

また、併せて整備した和賀分館では、動物のはぐ製や昆虫・鉱物の標本など、自然分野の展示を専門に行い、利根山光人記念美術館と合わせた分館の教育機能は、一層充実したものとなっております。

50周年を節目としまして、これからも、教育、学術の中核として市民に親しまれ、楽しく学べる博物館であり続けますことを期待するとともに、今後ますます来館者が増え、北上の魅力を広げる施設となりますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

目 次

ごあいさつ	北上市長 八重樫 浩文	2
ごあいさつ	北上市教育委員会教育長 船 田 浩	3
博物館50周年記念誌の発刊に寄せて	北上市議会議長 菊 池 勝	4
北上市立博物館50年のあゆみ		
開館までの道のり（昭和47年以前）		6
博物館開館から10年（昭和48年～昭和57年）		8
野外博物館「みちのく民俗村」開園まで（昭和58年～平成3年）	…	10
民俗村開園から指定管理になるまで（平成4年～平成27年）	…	12
本館リニューアル（平成28年～現在）		14
メモリーズ		
開館50周年事業		16
北上市立博物館歴代館長		18
博物館マスコットキャラクター		18
みちのく民俗村歴代村長		19
利根山光人記念美術館		20
活動の記録		
特別展・企画展・その他展示会の記録		21
主な教室学習会・講演会等の記録		24
その他の活動		33
刊行物一覧		34
各種データ		
北上市立博物館50年の入館者動向		36
収蔵資料数		39
令和6年度組織図		39
令和6年度博物館協議会委員		39
令和6年度博物館職員体制		39
これからに向け	北上市立博物館館長 渋谷 洋祐	40

本書の内容は主に当館で過去に発行した記念誌（『博物館開館20周年・みちのく民俗村開村記念誌 北上市立博物館20年のあゆみ』『博物館開館30周年・みちのく民俗村開村10周年記念誌 溫故知新』）と年に1回発行している『博物館だより』に掲載された情報をもとに編集しています。



北上市立博物館50年のあゆみ

北上市立博物館は、岩手県内陸部初の総合博物館として昭和48年（1973）に開館し、令和5年（2023）で50周年というひとつの大きな節目を迎えました。北上川流域を中心に生きた人々の歴史と、北上周辺の自然をテーマに、考古、歴史、民俗、自然科学等の資料を展示し、市内外の方々から長く愛され続けてきました。この紙面では、当館の50年のあゆみを振り返ります。

開館までの道のり

博物館構想と付属施設の建設

昭和40年代初頭から、旧北上市では、珊瑚橋から展勝地、国見山の一帯を公園として整備し、文化教育の拠点とすべく計画を立てていました。昭和42年（1967）6月発行の「広報きたかみ」によると、展勝地を観光開発重点地区に定め、国見山、男山、内門岡一帯を、自然公園を兼ねた史跡公園として整備し、ゆくゆくは県立公園「風土記の丘」にしたいという構想があったようです。観光振興を目的としつつも、このエリアへ口内町の国指定重要文化財・中村屋敷（旧菅野家住宅）を移築し、民俗館を建築するなど、文化財を保護しながら社会教育にも役立てるという道筋が作られました。

先んじて、「畠山」として市民に親しまれていた立花の山に、昭和45年3月、文化財収蔵庫「考古館」が完成しました。翌46年11月11日の第150回市

議会臨時会にて、「市立公園展勝地の考古館横に市立博物館を建設すること」が決定します。前述した「風土記の丘」計画を念頭に置いた計画となっており、これまでの学術調査の成果や収集した資料を教育に活用するためという目的でした。

その後の昭和47年6月末、約1,830万円の工費をかけた旧菅野家住宅の移築復元が終了し、同じ年の10月30日には、博物館が竣工しました。延床面積1,013.05m²の鉄筋コンクリート造りで、施設としては477.05m²の展示室のほか、集会室、収蔵庫、研究図書室、宿直室、事務室などで構成されました。工費は9,200万円でした。市の昭和48年度予算一般会計費が35億840万円だった時代に、市民の期待に応えようと、市としてもかなり力を入れた事業だったことがうかがえます。



博物館が建てられる以前の畠山

昭和47年以前

主な出来事

昭和45年（1970）3月	考古館完成
昭和46年（1971）11月11日	北上市立博物館設立を決定
昭和47年（1972）6月末	旧菅野家住宅の移築復元が完了
昭和47年（1972）10月30日	博物館が竣工



建設中の博物館



移築復元された旧菅野家住宅
(国指定重要文化財)



最も早く建設された考古館



博物館開館から10年

ふるさとの自然と文化を学ぶ社会教育施設として

2カ年の準備期間を経て、いよいよ昭和48年（1973）4月25日に博物館本館が開館しました。「北上川流域の自然と文化」をテーマに、北上市と周辺地域の歴史や民俗資料のほか、昆虫標本や岩石標本などの資料が展示される総合博物館として当館の歴史がスタートしたのです。開館時の入館料は小・中学生が20円、一般は50円でした。

郷土について理解を深め、学習や研究をする場としての役割を果たすことはもちろん、市立公園（展勝地）内に立地していることから、休息・散策の場所として利用されることも多く、市民にとって身近で気軽に訪れることができる社会教育施設として生涯学習の場を提供してきました。

開館以来、資料の収集・展示・保存という博物館業務のほかに、年間を通じて歴史探訪会や自然観察会などの学習会、特別展や企画展などを数多く開催



博物館オープンをテープカットで祝う



外壁に北上市ゆかりの美術家・岩間正男氏による彫刻が施された博物館

開設した図録などがあり、博物館の持つ多岐にわたる情報を分かりやすく広く発信してきました。

昭和53年7月には、旧黒沢尻実科高等女学校の校舎が移築復元され、民俗資料館として活用されるようになりました。これは、明治期の洋風建築を貴重な文化財として保存したものです。この民俗資料館が開館したことで見学の幅が広がったことに加え、歴史ブームにみられる博物館に対する社会的な関心の高まりも影響したためか、この頃の入館者数は順調に伸びていきました。



開館当初の歴史分野の展示室の様子

主な出来事

昭和48年（1973）4月20日	博物館本館開館式
昭和48年（1973）4月25日	博物館本館開館
昭和48年（1973）5月17日	博物館本館落成式
昭和51年（1976）	剥製展示室拡張工事
昭和52年（1977）	旧菅野家造園工事
昭和53年（1978）7月5日	民俗資料館落成式
昭和53年（1978）	地下収蔵庫工事
昭和57年（1982）	東北新幹線開業
昭和57年（1982）10月17日	博物館開館10周年記念式典



自然分野の標本も充実していた



昭和2年の建築物でありながら明治建築の面影を色濃く残す女学校校舎





移築復元された商家旧今野家住宅はみちのく民俗村の受付となった

野外博物館「みちのく民俗村」開園まで

郷土の歴史と生活文化を体感する空間づくり

博物館本館が開館して10年が過ぎたころ、当時、次第に姿を消しつつあった茅葺き民家のうち、主に北上川流域に残っていた建築物資料として特徴のあるものを、年次的に移築復元していくこうという計画が立てられました。これは、社会生活の変化によって活用を絶たれた多くの建築文化財や、祖先から伝えられた民俗文化を守ることを目的としたものです。

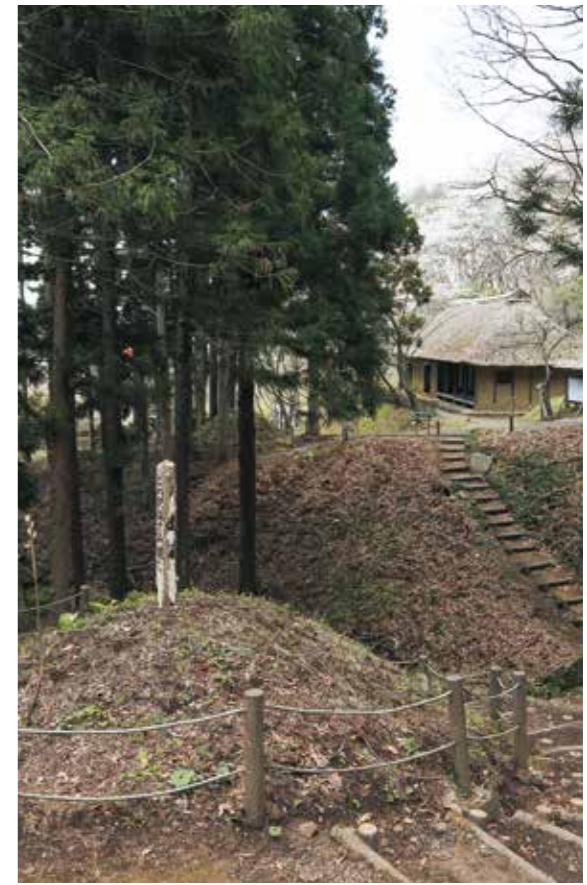
そして、昭和58年（1983）、旧北上市総合発展計画に整備事業案が盛り込まれてから建設が具体化します。同年、旧仙台藩寺坂番所を復元したのを皮切りに、歴史的建造物を展示保存する野外博物館「みちのく民俗村」を設立するため、みちのく民俗村整備事業が本格的に始まりました。当初の計画は11年間にわたる長大なもので、第Ⅰ期（昭和58年度～昭和63年度）・第Ⅱ期（平成元年度（1989）～平

成5年度）に分かれていますが、訪れる入館者の急増などの事情により整備が急務となり、期間を1年繰り上げて平成4年度までに完成させることになりました。総事業費は約7億2千万円余り、内訳は第Ⅰ期に約1億5千万円、第Ⅱ期に約5億7千万円となっています。一方で、第Ⅱ期の計画の一部である、説話・民間信仰・民俗芸能といった精神的文化遺産の紹介のための施設「民俗伝承館」の開設については、諸般の事情で中止となりました。

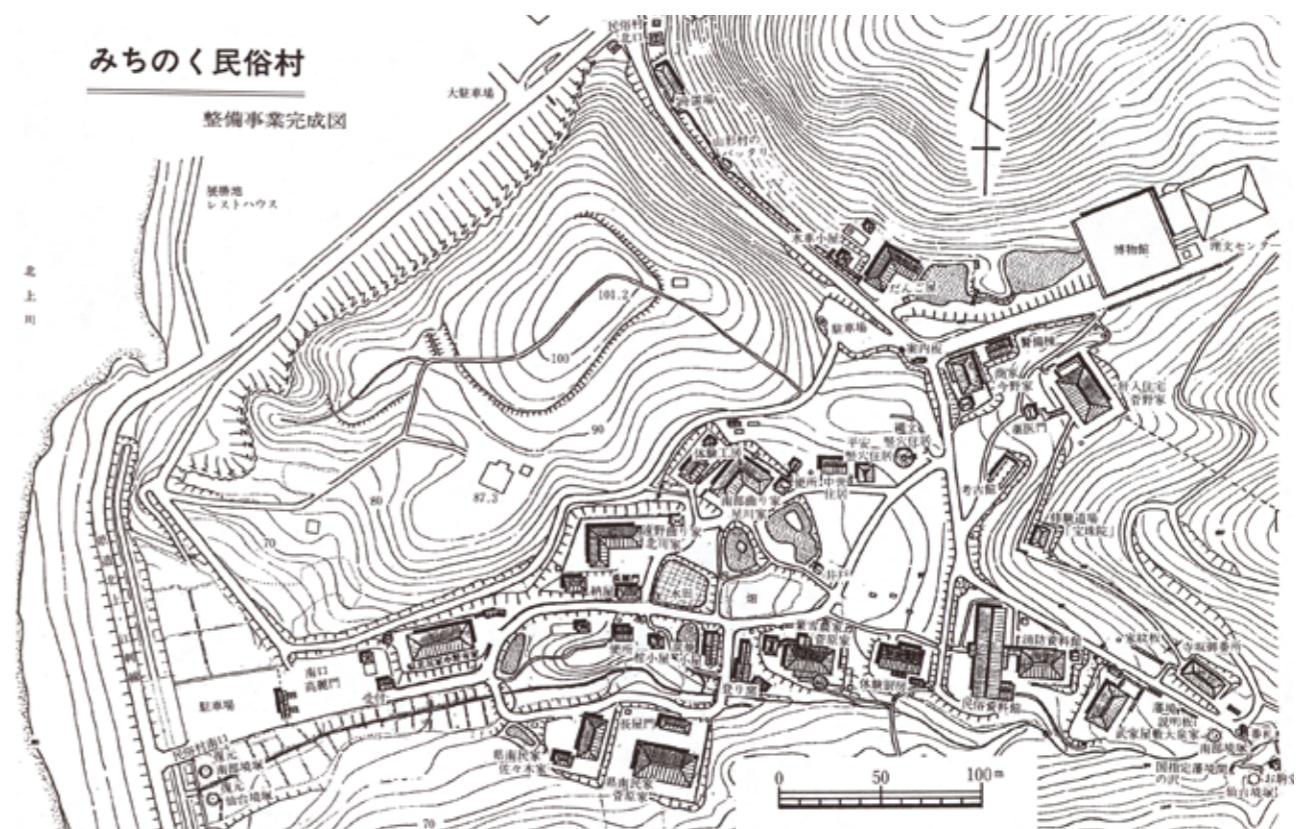
民俗村は広さ約7haの敷地があり、岩手県内各地から移築復元した古民家10棟とその付属建物など15棟、体験学習施設2棟が配置されました。建物は完成するつど、順次、入館者に公開されました。平成2年には、ガイドボランティアの会が発足し、案内などサービスの充実がはかられていました。

主な出来事

昭和58年（1983）	旧仙台藩寺坂番所復元工事
昭和60年（1985）	旧星川家住宅復元工事
昭和60年（1985）	旧修驗宝珠院道場復元工事
昭和61年（1986）	旧今野家住宅復元工事
昭和62年（1987）	旧大泉家住宅復元工事
昭和62年（1987）	旧菅原家住宅（豪雪農家）復元工事
昭和63年（1988）	旧北川家住宅復元工事
平成元年（1989）4月1日	埋蔵文化財センター完成により博物館事務室が同センター内に移転
平成元年（1989）	体験工房建築工事
平成元年（1989）	堅穴住居復元工事
平成2年（1990）4月7日	みちのく民俗村ガイドボランティアとして29人が活動開始
平成2年（1990）	北口附属施設新設工事
平成2年（1990）	長屋門風演舞場復元工事
平成2年（1990）	旧小野寺家住宅復元工事
平成3年（1991）4月1日	旧北上市・和賀町・江釣子村三市町村合併により現北上市誕生
平成3年（1991）	旧佐々木家住宅復元工事
平成3年（1991）	旧菅原家住宅（県南民家）復元工事
平成3年（1991）	体験厨房新築工事

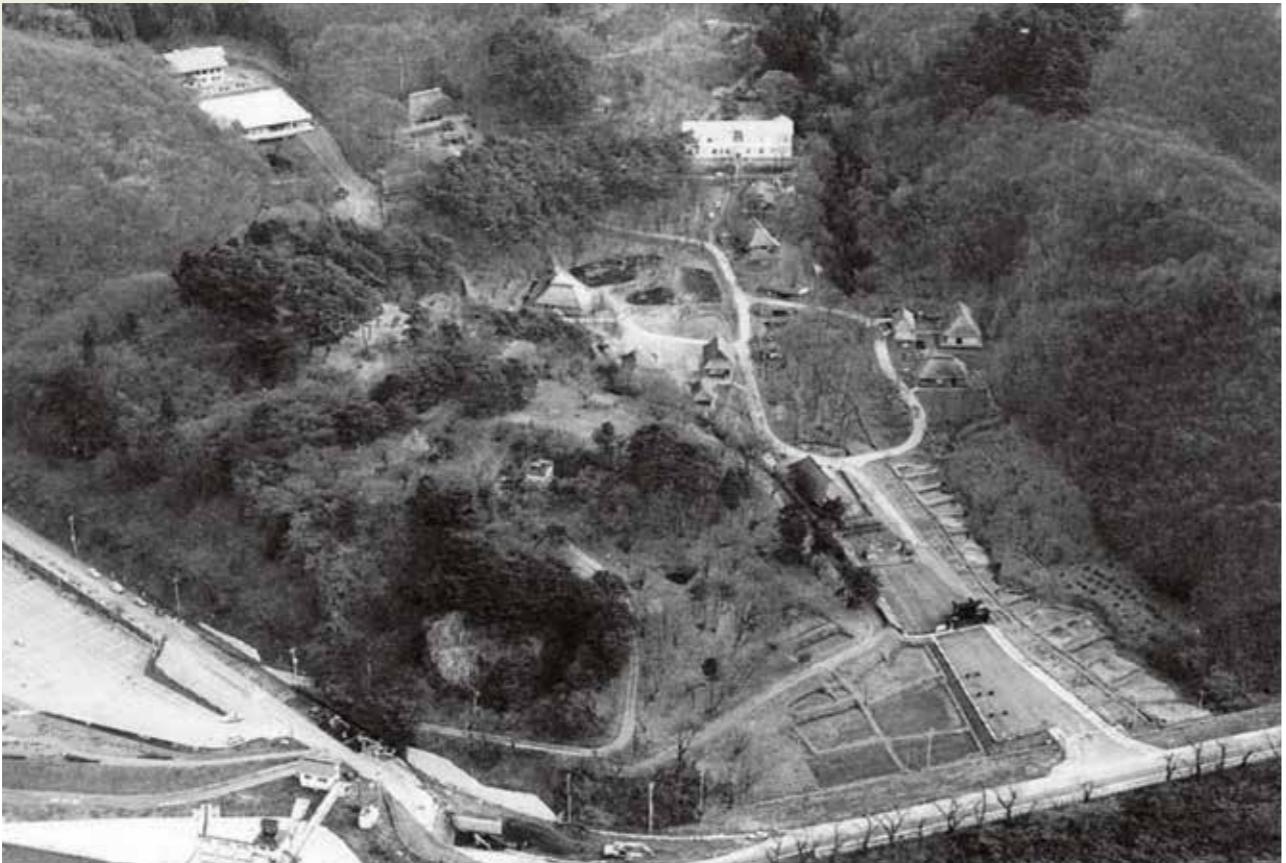


民俗村敷地内にある南部領と伊達領の境を示す間沢挾塚（国史跡）の近くに旧仙台藩寺坂番所（右奥）は移築復元された



民俗村開園から指定管理になるまで

県内外から注目された広大な野外博物館



民俗村全景

平成4年（1992）、博物館の敷地内に「みちのく民俗村」が完成し、教育施設であると同時に観光施設としても大きな注目を集めました。野外博物館でありながら、茅葺き民家の集落を模して造られたこともあり、開館を「開村」と称し、民俗村の顔として、森林学の権威であり東京大学名誉教授だった高橋延清氏が「村長」として就任しました。

開村前、博物館の入館者は昭和53年度（1978）をピークに徐々に減少に転じ、昭和58年度には最低となりましたが、民俗村の整備が進むにつれ、再び増加傾向となりました。特に、平成2年度に一挙に増加し、平成3年度では年間6万人台となり、開村後もしばらくは5～6万人台を維持します。ポスターの配布や、雑誌、バス広告といった宣伝活動や、レストハウスなど周辺施設の整備が大きな要因と考えられ、本館の室内展示よりも屋外展示（建築文化財）に多くの人が足を運びました。北東北を舞台に

した大河ドラマや、そのロケ施設が近隣にオープンしたことでも追い風になり、入館者数は次第に県外に広がっていきました。

博物館では民俗村を活用し、歴史や文化体験、自然観察などさまざまな教育普及活動を展開してきました。郷土料理を作ったり、茅葺き民家での宿泊を通して昔のくらし体験学習をしたり、裂き織りやわら細工といった手仕事実演を行うことで、地元の文化や風習を伝えました。

民俗村の一番大きな催し物は、年に一度開催されたみちのく民俗村まつりです。かつての村祭りを再現し、昔の暮らしの一部を体験することにより、私たちの社会のありかたを考える機会にすることなどを目的として、平成4年10月の民俗村開村を契機に始められました。期間中は無料開放され、民俗芸能公演や村の市などさまざまな企画が盛り込まれました。特に、過去の民俗村まつりの催し物で人気を博



みちのく民俗村開村式



民俗村まつりの人気イベントだった花嫁道中



人々をなごませるノスタルジックな風景



休日には園内では芸能公演が催された

主な出来事

平成4年（1992）4月1日	事務室が埋蔵文化財センターから本館へ移転
平成4年（1992）	地下収蔵庫増設工事
平成4年（1992）10月9日	博物館開館20周年記念式典・みちのく民俗村開村式 初代村長高橋延清氏就任
平成10年（1998）	白ヘビ発見、「シロちゃん」と名付け博物館で飼い始める
平成12年（2000）	藩境塚が国史跡に指定
平成12年（2000）4月1日	2代目村長澤藤雅也氏就任
平成13年（2001）	博物館開館30周年記念式典・民俗村10周年
平成17年（2005）4月1日	3代目村長相澤史郎氏就任
平成19年度（2007）	収蔵資料管理システムを導入
平成23年度（2011）	東日本大震災
平成27年度（2015）	民俗村指定管理者制度導入

本館リニューアル

より地域の歴史に重点をおいた展示内容へ

平成28年（2016）には本館のリニューアルを行い、昭和48年（1973）の開館以来初めてとなる大規模な展示改修となりました。それまでは40年以上にわたり、「北上川流域の自然と文化」をテーマにした幅広く包括的な展示内容となっていました。リニューアルでは展示構成を変え、これまでの研究成果の蓄積や近年の実態に合わせて内容を絞り込み、北上市の歴史的な特徴が明快に伝わるよう、6つのテーマにスポットを当てて紹介しています。

和賀分館を新設

本館のリニューアルと同時に、北上市役所和賀庁舎1階に和賀分館を新設しました。こちらは、北上市の通史と自然部門の展示がメインとなっています。博物館資料を多くの人が気軽に見学できる施設を目指し、無料で観覧できるようにしました。

分館では各種生物資料をはじめ、和賀地方の鉱物・鉱山関係資料を多数展示しているほか、通史展示と先人紹介コーナーを設けています。



リニューアルオープン式典の様子



和賀分館では通史が学べる歴史資料と自然系の資料を展示

主な出来事

平成28年（2016）9月22日	北上市立博物館本館リニューアルオープン・和賀分館新設
令和2年（2020）	新型コロナウイルス感染症が流行
令和4年（2022）7月27日	和賀分館入館者2万人達成
令和5年（2023）4月9日	本館入館者150万人達成
令和5年（2023）10月21日	博物館開館50周年記念式典
令和6年（2024）	収蔵品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」導入



国見山廃寺本堂のイメージを実物大で再現した本館展示室

リニューアル後の展示構成

テーマ①

平泉に先立つ仏教文化の世界 国見山廃寺

北上市稻瀬町の国見山（標高約250m）南麓に9世紀半ばから11世紀後半にかけて実在した山岳寺院について紹介しています。多数の堂塔跡が確認されており、当時の北東北における最大規模の寺院であったことが明らかになっています。常設展示室の中心部分に、国見山廃寺本堂のイメージを実物大で再現し、その内部には、伝世する4体の銅竜頭（重要文化財）や出土遺物、周辺寺院の古神仏等も展示しています。また、堂塔の復元図（県建築士会北上支部作成、濱島正士国立歴史民俗博物館名誉教授監修）をもとにしたパネルも展示し、国見山廃寺最盛期の全貌が俯瞰できるようになっています。

テーマ②

縄文人の生活と祈り 樽山遺跡と八天遺跡

北上市内では、豊かな自然の恵みを背景として、縄文時代の遺跡が数多く見つかっています。中でも国の史跡として保護されている「樽山遺跡」（稻瀬）と「八天遺跡」（更木）にスポットを当て、北上における縄文時代の生活の一端を紹介しています。

テーマ③

蝦夷達が眠る 江釣子古墳群

蝦夷の古墳群としては最大規模を誇る国史跡「江釣子古墳群」。この古墳の多くは、古墳時代の終わりから奈良時代に造られたものです。古墳から出土した馬具や蕨手刀、勾玉やガラス玉等の装飾品を通して、奈良の大仏が造られていた頃、当地に生きた蝦夷達が、どのような営みや交流をもっていたのかを考察しています。蝦夷達が作ったこの地域独特の赤彩球胴甕（赤甕）も必見です。

テーマ④

乱世を生きた武将たち 和賀氏とその時代

鎌倉時代から安土桃山時代まで、約400年にわたる乱世のなかで、この地を治めた和賀一族。和賀氏を考察するうえで欠かせない一級資料『鬼柳文書』から厳選した3点を複製展示し、その実態の一端を紹介しています。また、一族の拠点となった丸子館や鹿島館から出土した、往時の勢力を物語る中国産・国産陶磁器片も展示しました。合戦年表や主な拠点を図示した解説パネル等を駆使し、未だ謎の多い和賀氏に迫っています。

テーマ⑤

南部と伊達の藩境に生きる 藩境のまち

北上市は、江戸時代の南部領と伊達領の一部から成り立つ藩境のまちです。水利権等をめぐり、藩境の確定には半世紀もの期間を要しています。このコーナーでは、両藩それぞれに取り交わした藩境決定時の絵図面をはじめ、御番所に関わる資料等を展示し、藩境のまちならではの特徴を紹介しています。また、約155kmにおよぶ藩境線のうち、国指定史跡部分（当市と金ヶ崎町の約11km）に残る人為的な境塙等についてもパネルで紹介しています。

め、御番所に関わる資料等を展示し、藩境のまちならではの特徴を紹介しています。また、約155kmにおよぶ藩境線のうち、国指定史跡部分（当市と金ヶ崎町の約11km）に残る人為的な境塙等についてもパネルで紹介しています。

テーマ⑥

北上川の流れとともに 黒沢尻川岸

江戸時代、北上川は米を主とする物資輸送の大動脈でした。現在、桜の名所となっている勝勝地の対岸には、盛岡藩最大の河港・黒沢尻川岸がありました。同港は、上流の盛岡との間を行き来する小型船「小縄船」と、下流の石巻との間を行き来する大型船「船船」の中継港として発展した港です。当地に残る船道具や絵図、航行安全の願いが込められた船絵馬等から、活気に満ちていた同港の姿を紹介しています。



開館50周年事業

北上市立博物館が開館してから50周年を迎えた令和5年（2023）には、記念式典や特別展、シンポジウムなどの関連事業を開催しました。

北上市立博物館開館50周年記念式典

10月21日 本館展示室

式典には博物館や教育施設関係者24名が出席し、50周年を祝いました。参加者は、記念映像や特別展を観覧し、博物館と北上市の50年の歴史に思いを馳せていました。



滑田鬼剣舞による勇壮な舞が記念式典の幕を開けた



博物館と北上市の50年を振り返った特別展

特別展

MEMORIES～記録と記憶の北上市～

10月21日～12月24日 本館展示室

『広報きたかみ』の記録をもとに、博物館が開館した年からの50年間の北上市の歴史を「工業」「交通」「観光」「スポーツ」「自然」のテーマ別にまとめて展示しました。この50年は、企業誘致が進むとともに、昭和57年（1982）に東北新幹線が開業するなど、多くの人々が行き交う環境が形成され、当市が大きく変化し飛躍を遂げた時期もあります。この特別展では、市の発展過程やまちなみの変遷を写真とパネルで解説しました。

また展示の特別な企画として、博物館と同じ立花地区にある市立東桜小学校に協力してもらい、未来へつなぐ桜の木をイメージしたモニュメントを作成しました。東桜小学校は、北上川東部の4つの市立小学校（照岡小・口内小・黒岩小・立花小）が統合し、令和5年（2023）に誕生した小学校です。博物館と東桜小学校の双方の節目の年に、地元の有名な展勝地の桜になぞらえ、子どもたちに郷土の魅力を伝え、豊かな心を育む機会になるよう企画しました。



東桜小学校全校児童の手形が桜の花となつて展示の一角を彩った



北上市立博物館が開館してから50周年を迎えた令和5年（2023）には、記念式典や特別展、シンポジウムなどの関連事業を開催しました。

シンポジウム① 国見山廃寺から平泉へ

～歴史をひもとく博物館の役割～

10月21日 展勝地レストハウス

本館展示のメインテーマである国見山廃寺について、国立歴史民俗博物館名誉教授の濱島正士氏ら4名の識者が登壇し、意見を交わしました。国見山廃寺と平泉との関係を最新の研究成果を踏まえながら解説し、平安時代の北上市における仏教文化を参加者に伝えました。



国見山廃寺の説明にたくさんの参加者が耳を傾けた

講師・パネラー	濱島正士氏	国立歴史民俗博物館名誉教授
パネラー	八重樫忠郎氏	平泉世界遺産ガイダンスセンター長
パネラー	羽柴直人氏	平泉世界遺産ガイダンスセンター上席専門学芸員
コーディネーター	杉本良	北上市立博物館前館長

※肩書きは開催当時のものです。

シンポジウム② 北上川舟運がつないだもの

～歴史をひもとく博物館の役割～

11月26日 本館多目的室

東海大学文学部准教授の兼平賢治氏をはじめとする識者4名が、江戸時代の物流に重要な役割を果した北上川舟運の歴史をひもときました。参加者が聞き入る中、北上川流域の信仰や宮城県石巻市の井内石の運搬、大河と海をつないだ石巻湊など新しい知見が報告されました。（共催：基盤研究（C）20K00944 盛岡藩の北上川舟運と自然環境の利用に関する総合研究）



新しい知見が報告されて充実した内容となつた北上川舟運のシンポジウム

講師・パネラー	兼平賢治氏	東海大学文学部歴史学科日本史専攻准教授
パネラー	泉田邦彦氏	石巻市博物館学芸員
パネラー	岩館岳氏	紫波町教育委員会事務局生涯学習課歴史文化係長
コーディネーター	渋谷洋祐	北上市立博物館館長

※肩書きは開催当時のものです。





博物館では開館以来、特別展や企画展のほかにも、自然観察会や歴史探訪会などさまざまな学習会を開いてきました。子どもから大人まで幅広い年齢層の参加者が集まりました。
(写真は自然観察会の様子)



実物のきのこの展示と同定会は好評を博した恒例の企画でした。



博物館
マスコット
キャラクター

平成28年（2016）のリニューアルに合わせて発表された博物館のマスコットキャラクターです。よろしくお願いします！

北上市立博物館歴代館長

佐藤 武雄	昭和47年（1972）4月1日～ 昭和52年（1977）3月31日
千田 東峰	昭和52年（1977）4月1日～ 昭和56年（1981）3月3日
檜山 坦	昭和58年（1983）4月1日～ 昭和59年（1984）9月30日
及川 慶一	昭和59年（1984）10月1日～ 昭和62年（1987）3月31日
斎藤 尚己	昭和62年（1987）4月1日～ 平成4年（1992）3月31日
高田 尚和	平成4年（1992）4月1日～ 平成7年（1995）3月31日
本堂 寿一	平成7年（1995）4月1日～ 平成18年（2006）3月31日
柏葉 茂	平成18年（2006）4月1日～ 平成21年（2009）3月31日
高橋 文明	平成21年（2009）4月1日～ 平成28年（2016）3月31日
高橋 博	平成28年（2016）4月1日～ 平成31年（2019）3月31日
杉本 良	平成31年（2019）4月1日～ 令和4年（2022）3月31日
渋谷 洋祐	令和4年（2022）4月1日～現在

●平成時代の人気者「シロちゃん」

平成10年7月にトラックの荷台から発見され、当館に持ち込まれた白いテキサスラットスネークは「シロちゃん」と名付けられ、しばらく博物館のアイドルとして観覧者を出迎えていました。しかし、平成23年4月に高齢のため死んでしまいます。東日本大震災による停電を原因として体温が低下し、そこから衰弱したのかもしれません。

みちのく民俗村歴代村長

みちのく民俗村の村長として、いろいろなイベントや学習会を盛り立ててくださった3人の方々を紹介します。（肩書は就任当時のものです。）



高橋 延清 氏



澤藤 雅也 氏



相澤 史郎 氏

初代村長

就任期間：平成4年度（1992）
～
平成11年度（1999）

東京大学名誉教授。日本学士院
エジンバラ公賞受賞。通称「ど
ろ亀さん」。

2代目村長

就任期間：平成12年度（2000）
～
平成16年度（2004）

岩手大学名誉教授。岩手県景観
アドバイザーなど多方面で活
躍。

3代目村長

就任期間：平成17年度（2005）
～
平成26年度（2014）

東海大学名誉教授。第7回丸山
豊現代詩賞受賞。詩集など著書
多数。

民俗村の催し物のひとつである年中行事現在にはガイドボランティアの協力が欠かせません。
(写真はコトハ日の様子)



「集まれ！田んぼファミリー」では、応募
した市民が民俗村内の水田にもち米を植え、
収穫までの作業を楽しみました。

利根山光人記念美術館



利根山光人 略歴

大正10年（1921）	茨城県結城市に生まれる
昭和18年（1943）	早稲田大学卒業
昭和20年（1945）	彌恵子夫人と結婚
昭和24年（1949）	第1回読売アンデパンダン展に出品
昭和34年（1959）	初めてメキシコに渡る メキシコの帰途、ヨーロッパ各地、インド等を巡る
昭和35年（1960）	聖徳学園高等保育学校（のちの短期大学部）の講師となる
昭和38年（1963）	東京国立近代美術館「マヤ芸術の拓本展」に自身の拓本を出品
昭和40年（1965）	聖徳学園短期大学校舎建築にかかわる色彩計画、装飾、壁画を手掛ける。以後学園内の建築美術を多く手掛ける。
昭和47年（1972）	メキシコ政府よりアギラ・アステカ・エンコミエンダ章受章 岩手県を訪れ、民俗芸能を鑑賞
昭和48年（1973）	紺綬褒章受章
昭和49年（1974）	北上市にアトリエ完成
昭和56年（1981）	第6回吉田五十八賞受賞 JR北上駅舎に大壁画「日輪」完成
昭和60年（1985）	第17回日本芸術大賞受賞
昭和61年（1986）	メキシコ政府から、アギラ・アステカ・プラーカ章受章
平成3年（1991）	メキシコから民族舞踊団を北上に招待する
平成6年（1994）	永眠（享年72歳）



美術館のあゆみ

昭和49年（1974）	利根山光人画伯のアトリエとしてこの地に建つ
平成8年（1996）	画伯逝去後、市に寄贈されたアトリエを改修して「利根山光人記念館」開館
平成9年（1997）	第1回企画展「メキシコ幻想」開催 通信刊行・絵画教室スタート
平成13年（2001）	「利根山光人記念美術館」に改称
平成14年（2002）	第1回「利根山光人記念大賞展（ビエンナーレきたかみ）」開催 以降、形を変えつつ第6回（2018年）まで実施
平成28年（2016）	開館20周年記念式典開催
令和3年（2021）	画伯生誕100周年記念式典や記念事業を催す



神々の都 (コナラック幻想)



VIVA MEXICO

活動の記録

特別展・企画展・その他展示会の記録 昭和48年度（1973）～令和5年度（2023）

※恒例の事業名称について、年度により表記のばらつきがあるが、記念誌と『博物館だより』各号の表記に従った。
※「第〇回」などの開催回数については省略した。
※ここでの（分館）は和賀分館。

昭和48年度（1973）

5/1～5/30 北上周辺の焼物展
8/12～8/31 口内傘展
9/23～10/28 きのこ展

昭和49年度（1974）

4/1～5/26 ひな人形展
8/10～8/17 S L写真展
9/1～9/30 北上周辺の古代の村落展
10/2～11/5 きのこ展
11/3～11/17 文芸作品展
2/15～3/15 亀甲特別展

昭和50年度（1975）

4/23～5/1 大皿と抹茶器の古陶磁器展
8/13～8/31 北上ゆかりの日本画家遺作展
10/1～10/31 きのこ展

昭和51年度（1976）

4/23～5/5 美術刀剣展
8/13～8/31 頂像展
9/15～10/31 九年橋縄文遺跡展
10/1～10/31 きのこ展

昭和52年度（1977）

4/23～5/16 北上市周辺の神楽面展
8/7～9/4 昔の灯火器展
9/14～11/10 八天遺跡展
9/15～10/30 きのこ展

昭和53年度（1978）

7/5～8/5 東北のかまど神展
7/15～8/30 南極の石展
9/10～11/30 きのこ展
10/10～11/30 北上市周辺の岩石、鉱物、化石展

昭和54年度（1979）

4/20～5/20 昆虫生態写真展
5/5～6/30 桜と日本的心展
8/1～8/31 昔の灯火器展
9/17～10/31 きのこ展
9/23～11/30 北上川の漁撈展

昭和55年度（1980）

4/21～8/19 昆虫生態写真巡回展
9/1～9/30 岩手県における北上川流域の土偶展
9/20～10/31 きのこ展
11/1～11/30 東北地方の自在鉤展

昭和56年度（1981）

4/19～5/17 北上周辺の植物展
4/20～5/31 骨格に見る身近なけものたち展
5/27～6/30 北上周辺の植物巡回展

8/13～9/30 北上市周辺の岩石、鉱物、化石展
9/15～10/31 きのこ展

10/15～11/30 北上川の漁撈展

昭和57年度（1982）

4/1～5/31 着物雛形展・焼物展
4/25～5/31 すみれ展（岩手県立博物館企画移動展）
6/1～6/30 野鳥写真展
6/1～7/31 旧白山寺遺宝展
6/3～7/8 着物雛形巡回展
8/10～10/17 北上の修験道資料展
9/15～10/31 きのこ展
11/2～12/3 北上の消防資料展

昭和58年度（1983）

4/9～4/19 ひな人形展
4/23～5/31 軍人の遺品展
4/26～5/31 山菜展・すみれ展
7/21～8/23 出土古銭展
8/14～10/16 祈りの伝承切紙展
9/15～10/31 きのこ展
10/23～11/23 岩石、鉱物、化石展
12/9～12/11 岩手の看板展（岩手県立博物館企画移動展）

昭和59年度（1984）

4/4～5/10 ひな人形展
4/28～5/31 北上、和賀地方の山菜とすみれ展
7/15～8/19 岩手のおもちゃ展
9/1～10/7 花巻人形資料展
9/15～10/31 きのこ展

昭和60年度（1985）

4/20～5/12 ひな人形展
4/28～5/26 北上、和賀地方の山菜とすみれ展
7/20～8/18 北上、和賀地方の絵馬展
9/15～10/31 きのこ展

昭和61年度（1986）

4/27～5/18 ひな人形展
4/27～5/18 北上、和賀地方の山菜とすみれ展
7/15～8/17 ひと昔前の服飾展
9/17～10/31 きのこ展

昭和62年度（1987）

4/26～5/17 ひな人形展
4/28～5/17 北上、和賀地方の山菜とすみれ展
7/12～8/23 帰化植物展
9/1～9/30 北上地方の摺物展
9/15～10/31 きのこ展

昭和63年度（1988）

4/24～5/15 ひな人形展
4/27～5/8 北上、和賀地方のすみれ展
5/1～5/27 北上、和賀地方の山菜展
7/19～8/19 北上市周辺の地史展
9/1～9/30 岩手の人形芝居展
9/15～10/30 きのこ展
10/18～11/19 郷土の画人“黒川”展

※利根山光人記念美術館（分館）は、まちづくり部生涯学習文化課が担当し、活動を実施しています。

平成元年度（1989）

4/15～5/14 ひな人形展
4/27～5/7 北上、和賀地方のすみれ展
5/2～5/21 北上、和賀地方の山菜展
9/15～10/31 きのこ展
10/3～10/29 鳴く虫コーナー

平成2年度（1990）

4/15～5/6 ひな人形展
4/25～5/15 北上、和賀地方のスミレ展
4/25～5/15 北上、和賀地方の山菜展
9/1～10/14 岩手のわら人形展
9/15～10/20 きのこ展

平成3年度（1991）

4/15～5/5 ひな人形展
4/21～5/10 早春の自然展
9/22～10/20 秋の自然展

平成4年度（1992）

4/15～5/5 ひな人形展
4/20～5/24 スミレと山菜展
7/25～9/20 賢治が語る石の世界
9/15～10/31 きのこ展

平成5年度（1993）

4/20～5/16 ひな人形展
4/25～5/23 スミレと山菜展
7/20～9/19 鬼の仮面展
7/25～9/12 賢治が歩いた道—北上編—
9/15～10/31 きのこ展
2/11～2/13 みちのく民俗村展

平成6年度（1994）

4/20～5/15 ひな人形展
4/24～5/22 スミレと山菜展
7/20～9/11 伝統こけし展
7/24～9/15 クジラの化石展
9/15～10/30 きのこ展
1/20～1/22 きたかみファンタジア展

平成7年度（1995）

4/20～5/14 節句人形展
5/1～5/31 北上の山菜展
7/20～9/17 戦後50年の北上を考える歴史資料展
9/23～10/30 きのこ展
10/1～10/30 野生のイワギク、コハマギク展
2/2～2/4 みちのく民俗村展

平成8年度（1996）

4/20～5/12 ひな人形展
5/1～5/31 北上の山菜展
7/20～9/29 陸奥国駒形神
10/4～10/24 きのこ展
3/4～6/29 鈴鴨川総合調査展

平成9年度（1997）

4/19～5/11 節句人形展
7/20～8/17 民俗村の植物展
8/20～9/28 十月仏 まいりの仏展
10/4～10/26 きのこ展

12/14～3/7 スイス・アルプスの植物展
3/8～ ニュージーランドの山野草

平成10年度（1998）

4/19～5/10 節句人形展
5/16～5/24 藤原八弥作品展
7/4～8/31 北上の指定文化財展
8/29～10/11 北上地方のオシラサマ展
10/3～10/25 きのこ展

平成11年度（1999）

4/24～5/30 北上の指定文化財展
7/3～8/15 民俗村の植物展
8/28～10/11 北の下駄展
10/9～10/24 きのこ展

平成12年度（2000）

4/22～5/15 節句人形展
8/26～11/19 出土陶磁器からみた和賀氏の時代
10/3～10/25 きのこ展
11/5～11/26 岩手の野生菊展

平成13年度（2001）

4/21～5/13 節句人形展
5月～6月 国見山の植物展
8/4～9/30 20世紀のくらし展
10/6～10/28 きのこ展
1/5～3/31 千支の馬ミニ百科

平成14年度（2002）

4/14～5/12 節句人形展
4/18～5/5 スミレ展
7/23～8/25 東南アジアの蝶展
8/4～9/29 修験道資料展～道具に見るその祈り
10/5～10/27 きのこ展

平成15年度（2003）

4/12～5/5 節供人形展
4/18～5/5 民俗村の桜
4/18～5/5 夏油高原の四季写真展
8/3～10/5 修験道資料展～明王像その祈り
9/27～10/19 きのこ展

平成16年度（2004）

4/9～5/5 節供人形展
4/17～5/5 民俗村の桜
7/24～9/20 北上の昆虫展Part1「オサムシ」
8/1～10/3 北上の女子中等教育
9/25～10/31 キノコ展
10/9～11/3 川と共に生きる全国大会—北上川の漁具と絵画—（※絵画のみ11/17まで）
12/11～1/30 民俗村写真展

平成17年度（2005）

3/15～5/5 節供人形展
4/16～5/5 民俗村の桜展
6/4～7/18 収蔵資料展
7/22～8/31 北上の昆虫展Part2「北上のチョウ」
8/6～10/2 昔の計量器—杓と秤—
9/24～10/30 きのこ展
11/26～12/10 村長さんの写真館

12/10～1/29 民俗村写真展
3/10～3/12 博物館移動展

平成18年度（2006）

4/9～5/7 節供人形展
4/15～5/7 民俗村の桜展
8/12～9/30 ため池の生きもの
9/23～10/29 きのこ展
11/28～12/10 村長さんの写真館
3/2～3/4 博物館移動展

平成19年度（2007）

4/14～5/6 みちのく民俗村の桜たち
7/21～9/9 北上の昆虫展Part3「トンボ」
9/15～10/28 布と仕事着展
9/22～10/31 キノコ展
11/26～12/2 村長さんの写真館
1/19～3/2 北上の縄文時代
2/29～3/2 博物館移動展

平成20年度（2008）

4/12～6/8 花巻人形とその型
9/1～11/10 北上の清水物語
9/20～10/31 キノコ展
11/27～12/3 村長さんの写真館
2/27～3/1 博物館移動展

平成21年度（2009）

4/18～5/31 新収蔵資料展
7/19～8/23 北上と日本のセミ・せみ・蝉展
9/1～11/10 南部領伊達領境塚展
9/19～10/31 きのこ展
11/19～11/22 森口多里 その足跡を辿る（岩手大学アートフォーラムとの共催）
11/26～12/2 村長さんの写真館
2/27～3/1 博物館移動展

平成22年度（2010）

5/29～8/22 ちょっと昔のいただきま～す
9/5～10/31 北上市西部域の自然展
9/18～10/31 きのこ展
11/26～12/1 村長さんの写真館

平成23年度（2011）

4/17～5/29 地球温暖化と雪と氷の造形展
7/17～8/21 日本の伝統セミ凧と南部凧展
8/27～11/3 南部藩の北上川舟運と黒沢尻河岸
9/17～10/31 きのこ展
11/25～12/1 村長さんの写真館

平成24年度（2012）

6/3～8/19 世界のカブト・クワガタ大集合
8/25～11/4 民俗村の民家を楽しむ
9/7～9/13 村長さんの写真館
9/9～10/28 きのこ展

平成25年度（2013）

6/16～8/18 北上川水系の淡水産貝類展
8/24～11/4 国指定10年記念 国見山廃寺跡展～平泉文化に先立つ仏教文化の世界～
9/7～10/27 きのこ展

11/8～11/14 村長さんの写真館

平成26年度（2014）

4/15～5/18 懐かしのSL写真展
7/20～8/17 岩手の蝶写真展
8/23～11/9 女のしごと 衣を作る自然の恵み
9/28～10/26 きのこ展
11/8～11/14 村長さんの写真館

平成27年度（2015）

4/15～5/10 渡辺文雄氏撮影 なつかしの展勝地
4/15～5/10 世界のカブト・クワガタ展

平成28年度（2016）

9/22～11/30 郡司直衛と藤原八弥～二人が見た国見山～

平成29年度（2017）

4/8～5/7 (本館) 桜花満開刀剣満開 會田コレクション刀剣展
4/15～6/4 (分館) 北上のスミレ展
5/12～6/4 (分館) 桜花満開刀剣満開 會田コレクション刀剣展
6/24～7/17 (本館) 會田コレクションⅡ うつわの美
6/24～8/20 (分館) 野の聖 慶念坊
7/15～9/30 (分館) 世界のアゲハチョウ展
7/22～10/30 (本館) 民具蒐集家 丹治敬子さんからの贈り物
9/22～11/26 (本館) 国見山廃寺と周辺の寺院跡
9/22～11/26 (分館) わくわく動物ミニランド

12/23～3/25 (分館) 北上が生んだ日本画家 及川香石
1/6～3/25 (分館) 冬鳥のいろいろ
2/10～3/21 (本館) 春の人形展

平成30年度（2018）

4/10～5/6 (本館) 桜花満開刀剣満開 會田コレクションと岩手ゆかりの刀剣展
4/14～8/26 (本館) 丹治敬子さんが描いた農村の1年
5/11～6/3 (分館) 桜花満開刀剣満開 會田コレクションと岩手ゆかりの刀剣展
5/26～7/1 (本館) 會田コレクションと古瀬戸の美
6/2～9/30 (本館) 昔の道具とくらし展
7/14～9/30 (分館) ヘルマン・ヘッセ『少年の日の思い出』からみた昆虫の世界展
7/21～9/24 (本館) 慶念坊とその時代
10/6～11/26 (本館) 一北海道・東北の刀匠—北の現代刀展
12/8～2/11 (本館) 新収蔵資料展
1/26～2/17 (分館) 木から生みだした鳥たち バードカービング展

平成31年度・令和元年度（2019）

4/6～5/12 (本館) 會田コレクションと境界の刀剣～南部と伊達の境を守りし刀たち～
4/13～12/1 (本館) 農家のくらし～北上のかやぶき民家～
5/25～8/18 (本館) 會田コレクションと人形手茶碗の世界～うつわに描く～
6/1～9/30 (本館) 昔の道具とくらし展
7/13～9/30 (分館) 世界のカブト&クワガタ展



9/21～12/8 (本館) 北上川舟運と海つなぐ、広がる、時代を超えて—
 1/11～2/16 (本館) 新収蔵資料展
 1/25～3/31 (分館) 見てわかる! 作ってわかる! ハチの巣展
 2/22～3/29 (本館) 春の人形展
令和2年度 (2020)
 4/4～8/2 (本館) 展勝地のおもひで (前期)
 4/11～5/24 (本館) 會田コレクション 刀と刀装具の魅力
 5/30～8/16 (本館) ～武士ごのみ・両班ごのみ～日本と朝鮮 やきもの展
 7/11～8/31 (分館) 世界のカブト&クワガタ展
 8/3～12/13 (本館) 展勝地のおもひで (後期)
 8/22～10/25 (本館) ちょっと昔の北上市
 10/31～12/27 (分館) 有害鳥獣展一敵を知り、生活を守る—
 11/1～3/7 (本館) 蝦夷の赤い甕—最強の蝦夷は和賀川にいた—
 1/16～3/7 (分館) 展勝地にかかわった北上の先人
 ※新型コロナウイルス感染症およびそれに伴う移動の制限などにより「春の人形展」(本館)、「節句人形展」(分館)は中止

令和3年度 (2021)
 4/3～6/13 (分館) 野鳥に魅せられて～写真とカービングで見る野鳥たち～
 4/17～6/13 (本館) 麻宮騎亜原画展【雪月桜35】
 7/3～9/2 (本館) 鹿蹄とメキシコのまつり (利根山光人記念美術館巡回展)
 7/3～12/26 (本館) 平成の北上史
 7/10～9/30 (分館) 世界のびっくり昆虫展
 7/17～10/3 (本館) あのころの暮らし
 10/16～12/26 (本館) 国見山廃寺における建築・瓦
 12/18～3/6 (分館) 水沢鉱山展
 1/15～3/13 (本館) 新収蔵資料展

令和4年度 (2022)
 4/9～5/29 (本館) 祈りの刀
 4/23～6/19 (分館) バードカービング作品展
 4/23～6/19 (分館) 節句人形の世界
 6/18～8/31 (本館) 季節を感じるテーマ展・I 避暑
 7/2～9/25 (分館) 夏油の昆虫たち
 7/23～10/2 (本館) 思い出の学校～昔の子どもたち～
 9/10～11/30 (本館) 季節を感じるテーマ展・II 秋草の刀装具
 10/15～1/9 (本館) 川をはさんだ2つの宿場～江戸時代の黒沢尻と鬼柳～
 10/15～1/9 (本館) 郷土の画人・菅原黒川
 12/17～1/15 (本館) 季節を感じるテーマ展・III 大正時代のすろく
 12/17～2/12 (分館) 「和賀新聞」から知る近代の和賀の人々のくらし
 1/28～3/21 (本館) 春の人形展

令和5年度 (2023)

4/1～5/7 (分館) バードカービング作品展 (※会期は3/25～)
 4/15～5/28 (本館) 刀剣の愉しみ
 7/8～10/1 (分館) 美しい昆虫たち
 7/8～10/1 (本館) 昭和のくらし
 7/29～8/20 (本館) つくる巨人 岩間正男展 (3館連携企画展)
 10/21～12/24 (本館) MEMORIES～記録と記憶の北上市～
 12/16～2/12 (分館) 和賀地方の歴史と文化 仙人鉱山展
 1/27～3/10 (本館) 新収蔵資料展

主な教室学習会・講演会等の記録 昭和48年度 (1973)～令和5年度 (2023)

※恒例の行事名称について、年度により表記のばらつきがあるが、記念誌と「博物館だより」各号の表記に従った。
 ※「第〇回」などの開催回数については省略した。
 ※一連の事業については丸数字を付した。

昭和48年度 (1973)

9/5 すず虫普及
 12/8～12/9 地学講習会
 1/17 小正月飾り作り
 2/10 講演会「更木の文化財について」

昭和49年度 (1974)

9/4 すず虫普及

昭和50年度 (1975)

9/16 すず虫普及

昭和51年度 (1976)

9/20～ すず虫普及

昭和52年度 (1977)

9/4～ すず虫普及

9/30・10/27・10/31 博物館学習室

1/15 講演会「東海地方における古代、中世の陶器生産と東北地方への流入」

1/29 講習会「古碑の見方と拓本のとり方」
 2/8・2/9 講習会「金属器の防錆処理について」

昭和53年度 (1978)

8/1 親子自然観察会
 11/1 講習会「民具の整理方法とその活用」

11/10～11/12 博物館学習会

11/11 講演会「三陸のワシ猟師」
 2/23 講習会「昆虫標本の作り方、保存のし方」

3/4 講演会「ふるさとの民俗芸能」

昭和54年度 (1979)

8/3 親子自然観察会
 9/6～ すず虫普及
 9/16 講演会「東北の山岳仏教と極楽寺」
 9/30 講演会「マタギと山のけものたち」

令和11年度 (2023)

11/11 講習会「原色押花標本の作り方」
 1/27 講演会「民俗芸能について」

昭和55年度 (1980)

日程不明 すず虫普及
 6/15 親子自然観察会「国見山周辺」
 6/22 郷土歴史探訪会「和賀氏の史跡をたずねて」

7/27・8/10 夏休み体験学習室「縄文土器を作ろう」
 11/24 講演会「自然の生態系とその保護 (化石のはなし、しらべ方)」

1/17・1/18 講演会「東北地方の中世城郭について」

昭和56年度 (1981)

6/28 歴史探訪会「平安時代の仏教文化を尋ねて」

7/12～8/6 夏休み体験学習室「縄文式土器を作ろう」
 8/9 親子自然観察会「宮守村の石灰岩地帯」

8/14～ すず虫普及
 10/18 きのこのはなしと同定会
 12/20 民俗講習会「しめなわづくり」
 1/17 民俗講演会「正月を中心とした年中行事について」

昭和57年度 (1982)

7/4 歴史探訪会「古墳と古代城柵をたずねて」
 7/25・8/4 夏休み体験学習室「縄文土器を作ろう」
 8/7・8/8 親子自然観察会「磯の生物を学ぶ」
 8/11～9/12 すず虫の普及
 10/3 講演会「きのこ採集と同定会」
 1/16 講演会「都人からみた古代東北の人物評」

昭和58年度 (1983)

4/24 北上の古代寺院跡探索会 (大竹廃寺)
 5/8 北上の古代寺院跡探索会 (万歳寺)
 5/22 北上の古代寺院跡探索会 (極楽寺)
 8/5・8/6 夏休み体験学習室「昔のくらしを体験しよう」
 8/19～10/2 すず虫普及
 9/18 親子自然観察会「火山の活動を学ぼう」
 10/9 きのこのはなしと同定会
 1/22 講演会「地方仏のなぞー北上周辺の平安仏について」

昭和59年度 (1984)

5/20 歴史探訪会「天台寺をたずねて」
 7/22・8/4・8/5 体験学習室「昔のくらしを体験しよう」
 8/28～8/31 すず虫普及
 10/7 きのこのはなしと同定会
 10/28 拓本講習会
 2/17 民俗講演会「南部の馬とその信仰習俗」

昭和60年度 (1985)

5/12 歴史探訪会「平泉以南の仏教文化を訪ねて」
 5/26 体験学習室①「食べる」
 6/23 体験学習室②「道具と人々のくらし」
 7/21 体験学習室③「縄文式土器を作ろう」
 8/3・8/4 体験学習室④「昔のくらしを体験しよう」
 8/30～9/20 すず虫普及
 10/6 きのこのはなしと同定会

令和17年度 (2025)

11/17 北上川沿いの遺跡探訪会
 11/24 民俗講演会「岩手県民家の再発見—古民家の保存と意義」

昭和61年度 (1986)

4/20 歴史探訪会「宮城・福島県境の古代寺院と仏像を訪ねて」
 5/25 体験学習室①「畑をつくろう」
 6/15 体験学習室②「畑に種をまこう、馬っこつなぎをつくろう」
 7/13 体験学習室③「縄文式土器を作ろう」
 8/2・8/3 体験学習室④「昔のくらしを体験しよう」
 8/30～9/14 すず虫普及
 10/5 きのこのはなしと同定会
 10/10 趣味の歴史しらべ「北上川の遺跡と民話の伝承地を訪ねて」

昭和62年度 (1987)

5/17 歴史探訪会「北上周辺の古代寺院と平安仏を訪ねて」
 6/7 体験学習室①「畑をつくろう」
 6/21 親子自然教室①「化石採集」
 7/5 親子自然教室②「標本作り、昆虫採集」
 7/12 体験学習室②「縄文式土器を作ろう」
 8/1・8/2 親子自然教室③「昆虫の観察、採集」
 8/8・8/9 体験学習室③「昔のくらしを体験しよう」
 9/8～9/18 すず虫普及
 9/13 親子自然教室④「標本作り」
 10/4 きのこのはなしと同定会
 10/18 体験学習室④「収穫祭」
 11/15 趣味の歴史しらべ「北上川の遺跡と民話の伝承地を訪ねて」

昭和63年度 (1988)

5/29 歴史探訪会「天台寺をたずねて」
 日程不明 炭焼講習会 (3回講座)
 6/5 体験学習室①「畑づくり」
 6/12 自然教室①「化石、鉱物採集」
 7/3 体験学習室②「土器づくり」
 7/3 自然教室②「標本作りと観察」
 7/30・7/31 体験学習室③「くらし体験」
 8/7 自然教室③「虫ウォッキング」
 9/10～9/30 すず虫普及
 9/11 体験学習室④「収穫祭」
 9/11 自然教室④「虫ウォッキング」
 10/16 きのこのはなしと同定会
 10/30 趣味の歴史しらべ「和賀川沿いの歴史と民俗の旅」

平成元年度 (1989)

日程不明 民話の語り手養成講座 (6回講座)
 6/4 自然教室「化石採集会」
 6/11 体験学習室①「畑づくり」
 7/3 体験学習室②「土器づくり」
 8/5・8/6 体験学習室③「くらし体験」
 9/9～9/20 すず虫普及
 10/1 きのこのはなしと同定会

10/15	趣味の歴史しらべ「猿ヶ石川流域の歴史と民話を訪ねて」	9/1～9/18 すず虫の配布 9/27 きのこの話と同定会	8/3 自然観察会「昆虫博士になろう」 8/5・8/6 こども体験学習室	9/27・9/28 みちのく民俗村まつり 10/4 みちのく民俗村吟行会	
10/15	カンタンを聞く会	10/9～10/11 みちのく民俗村まつり	8/6 地質観察会「夏油川の地層とそのおいたち（岩手県立博物館主催）	10/5・10/12・10/19・10/26 きのこの同定会	
10/22	歴史探訪会「東北北部の古代城柵を訪ねて」	11/15 博物館小教室②「手打ちそばを味わう」 12/13 博物館小教室③「つけものに挑戦」 2/24 博物館小教室④「節句菓子づくり」	9/16・9/17 みちのく民俗村まつり 10/10 きのこの教室 10/28・10/29 博物館小教室③「そば打ち」	11/8 年中行事再現「コト八日」 12/13 年中行事再現「とし縄づくり」 1/15 年中行事再現「みずき団子作り」 2/14 冬の観察会 3/6 年中行事再現「コト八日」	
平成2年度（1990）		平成5年度（1993）		平成10年度（1998）	
日程不明	民話の語り手養成講座（5回講座）	5/8 自然観察会「どろ亀さんと森を歩く会」 5/22 博物館小教室①「山菜を食べよう」 5/30 歴史探訪会「和賀氏ゆかりの遺跡を訪ねて」	11/5 年中行事再現「コト八日」 12/17 年中行事再現「しめ縄づくり」 1/13 年中行事再現「みずき団子作り」 1/13・1/14 博物館小教室④「はく製標本づくり」 2/18 冬の自然観察会「雪と動物」 2/24 博物館小教室⑤「くくりびなづくり」 3/17 年中行事再現「コト八日」	5/5 年中行事再現「端午の節句」 5/9 自然観察会「どろ亀さんと森を歩く会」 5/31 自然観察会「ザクロ石を探そう」 6/6・10/17 みちのく民俗村吟行会 6/14 年中行事再現「馬ッコつなぎ」 6/28 歴史探訪会「伊達氏の居城めぐり2」 7/4 親子ふれあい教室「ほたるを探そう」 8/2 自然観察会「昆虫博士になろう」 8/29 記念講演会「岩手のオシラサマ」 9/26・9/27 みちのく民俗村まつり 10/4・10/11・10/18・10/25 きのこ同定会 11/8 年中行事再現「コト八日」 12/12 年中行事再現「しめ縄づくり」 1/15 年中行事再現「みずき団子作り」 2/7 年中行事再現「コト八日」 2/14 冬の観察会	
5/27	歴史探訪会「宮城県北の古代城柵を訪ねて」	6/3 自然観察会「大船渡市鬼丸の地質と化石」 6/17 体験学習室①「畑づくり」 7/15 体験学習室②「土器づくり」 8/4・8/5 体験学習室③「くらし体験」 9/8～9/14 すず虫普及 9/30 きのこのはなしと同定会 10/28 趣味の歴史しらべ「北上川、胆沢川流域の歴史と伝説を訪ねて」	8/5 自然観察会「和賀の地質めぐり」 6/12 体験学習室①「友だちをつくろう」 7/4 体験学習室②「民俗村のくらし」 8/5 自然観察会「昆虫博士になろう」 8/7・8/8 体験学習室③「物づくり入門」 9/11・9/12 みちのく民俗村まつり 10/3 自然観察会「きのこの話と同定会」 10/23 博物館小教室②「手打ちそばを味わう」 11/7・11/13 博物館小教室③「バードカービング」 12/12 博物館小教室④「つけものに挑戦」 2/20 冬の自然観察会 2/27 博物館小教室⑤「くくり雛づくり・節句菓子づくり」 3/27 みちのく博物散歩「久慈琥珀をたずねて」	5/19 自然観察会「どろ亀さんと森を歩く会」 5/26 自然観察会「クジラ化石とその周辺」 6/2 歴史探訪会「南部氏の居城めぐり2」 6/16 年中行事再現「端午の節句」 6/22・6/23 博物館小教室①「草木染め」 7/1 みちのく民俗村写真コンテスト（8/30まで募集） 7/14 年中行事再現「馬ッコつなぎ」 7/20・9/8 みちのく民俗村吟行会 7/27・7/28 博物館小教室②「植物標本作り」 7/31 自然観察会「川虫を探そう」 8/3・8/4 こども体験学習室 5/29 自然観察会「胆沢川の化石をたずねて」 6/5 歴史探訪会「北上周辺の古代仏教文化をたずねて」 6/24 みちのく民俗村写真コンテスト（8/17まで募集） 8/5 自然観察会「昆虫博士になろう」 8/6・8/7 こども体験学習室 9/10・9/11 みちのく民俗村まつり 10/2 きのこの教室 10/22 博物館小教室①「そば打ち」 11/3・11/12 博物館小教室②「バードカービング」 12/11 博物館小教室③「つけものに挑戦」 1/14・1/15 博物館小教室④「はく製標本づくり」 2/5 冬の自然観察会 2/25 博物館小教室⑤「節句菓子づくり」	5/5 桜の観察会 5/9 年中行事再現「五月節句」 5/9 自然観察会「どろ亀さんと森を歩く会」 5/30 歴史探訪会「伊達氏の居城めぐり3」 6/6 自然観察会「廃坑を訪ねて」 6/12 年中行事再現「馬ッコつなぎ」 7/31 親子ふれあい教室 9/25・9/26 みちのく民俗村まつり 10/10・10/17・10/24 きのこ同定会 11/6 年中行事再現「コト八日」 12/11 年中行事再現「年縄づくり」 1/15 年中行事再現「みずき団子作り」 2/6 年中行事再現「コト八日」 2/13 冬の自然観察会
平成3年度（1991）		平成6年度（1994）		平成11年度（1999）	
6/2	歴史探訪会「古代東北開発のルーツを訪ねて」	5/8 自然観察会「どろ亀さんと森を歩く会」 5/29 自然観察会「胆沢川の化石をたずねて」 6/5 歴史探訪会「北上周辺の古代仏教文化をたずねて」 6/24 みちのく民俗村写真コンテスト（8/17まで募集） 8/5 自然観察会「昆虫博士になろう」 8/6・8/7 こども体験学習室 9/10・9/11 みちのく民俗村まつり 10/2 きのこの教室 10/22 博物館小教室①「そば打ち」 11/3・11/12 博物館小教室②「バードカービング」 12/11 博物館小教室③「つけものに挑戦」 1/14・1/15 博物館小教室④「はく製標本づくり」 2/5 冬の自然観察会 2/25 博物館小教室⑤「節句菓子づくり」	7/1 みちのく民俗村写真コンテスト（8/30まで募集） 7/14 年中行事再現「馬ッコつなぎ」 7/20・9/8 みちのく民俗村吟行会 7/27・7/28 博物館小教室②「植物標本作り」 7/31 自然観察会「川虫を探そう」 8/3・8/4 こども体験学習室 9/28・9/29 みちのく民俗村まつり 10/6 きのこの教室 11/9・11/10 博物館小教室③「バードカービング」 11/10 年中行事再現「コト八日」 12/14 年中行事再現「しめ縄作り」 1/11・1/12 博物館小教室④「剥製標本作り」 1/25 親子ふれあい教室①「たこと竹スキー」 2/8 冬の自然観察会「雪と動物」 2/11 親子ふれあい教室②「もちつきともち花作り」 2/22 博物館小教室⑤「節句菓子作り」 3/16 年中行事再現「コト八日」 3/20 親子ふれあい教室③「昔話を聞こう」	4/25 桜の観察会 5/5 年中行事再現「五月節句」 5/9 自然観察会「どろ亀さんと森を歩く会」 5/30 歴史探訪会「伊達氏の居城めぐり3」 6/6 自然観察会「廃坑を訪ねて」 6/12 年中行事再現「馬ッコつなぎ」 7/31 親子ふれあい教室 9/25・9/26 みちのく民俗村まつり 10/10・10/17・10/24 きのこ同定会 11/6 年中行事再現「コト八日」 12/11 年中行事再現「年縄づくり」 1/15 年中行事再現「みずき団子作り」 2/6 年中行事再現「コト八日」 2/13 冬の自然観察会	
6/3	自然観察会「一戸町の地質と化石」				
6/17	体験学習室①「畑づくり」				
6/30	ウィークエンドセミナー①「民俗芸能の歴史的展開」				
7/15	体験学習室②「土器づくり」				
7/28	ウィークエンドセミナー②「北上の民俗芸能」				
8/3・8/4	体験学習室③「昔のくらし体験」				
8/25	ウィークエンドセミナー③「芸能における鎮魂—仏教と芸能」				
8/30～9/3	すず虫普及				
9/21	カンタンを聞く会				
9/22	ウィークエンドセミナー④「鹿蹄—その歴史と分布」				
9/29	趣味の歴史しらべ「広瀬川流域の歴史と民俗を訪ねて」				
10/6	自然観察会「秋の国見山」				
10/6	きのこのはなしと同定会				
10/20	ウィークエンドセミナー⑤「予祝と芸能」				
11/3	ウィークエンドセミナー⑥「芸能における仮面の役割」				
平成4年度（1992）		平成7年度（1995）		平成12年度（2000）	
5/31	博物館小教室①「山の春を味わう」	5/13 自然観察会「どろ亀さんと森を歩く会」 5/21 歴史探訪会「南部氏の居城めぐり」 5/27 博物館小教室①「山菜に親しむ」 6/4 自然観察会「古生代の化石を探そう」 6/10 年中行事再現「端午の節句」 6/18・9/17 みちのく民俗村吟行会 6/23 みちのく民俗村写真コンテスト（8/31まで募集） 6/24・6/25 博物館小教室②「草木染め」 7/8 年中行事再現「馬ッコつなぎ」	5/5 年中行事再現「端午の節句」 5/10 自然観察会「どろ亀さんと森を歩く会」 5/25 自然観察会「古生代の化石を探そう」 6/7 歴史探訪会「伊達氏の居城めぐり1」 6/14 年中行事再現「馬ッコつなぎ」 7/20 民俗村植物観察会（「民俗村の植物展」の会期中4回） 8/17 自然観察会「夏休み昆虫教室」 8/19 民俗村夜の教室「動物たちの世界」 8/23 記念講演会「岩手県地方のまいりの仏」	4/29 「市指定樹木（サクラ）を訪ねて」 5/5 年中行事再現「五月節句」 5/21 自然観察会「早春の山野草」 5/28 歴史探訪会「観音靈場の史跡を訪ねて1」 6/4 自然観察会「気仙地区的化石」 6/10 年中行事再現「馬ッコつなぎ」 7/30 親子ふれあい教室「大堤の自然観察会」 9/16・9/17 みちのく民俗村まつり 10/8 講演会「和賀氏と中世の東北」 11/11 年中行事再現「コト八日」 12/9 年中行事再現「年縄づくり」 1/13 年中行事再現「みずき団子作り」	
5/31	歴史探訪会「和賀氏ゆかりの地をたずねて」				
6/7	体験学習室①畑づくり				
6/14	自然観察会「東山町周辺の化石」				
6/21	自然観察会「夏油周辺の動植物」				
7/1～9/17	みちのく民俗村絵画・写真コンテスト				
7/12	体験学習室②竹でつくる器				
7/26	みちのく民俗村家族ふれあい写生会				
8/1・8/2	体験学習室③昔のくらしを体験しよう				
8/30	自然観察会「鳴く虫を探そう」				



2/10	年中行事再現「コト八日」
2/11	冬の自然観察会
平成13年度 (2001)	
5/5	年中行事再現「5月節句」
5/13	自然観察会「早春の山野草」
5/27	歴史探訪会「東北の観音靈場を訪ねて2」
6/3	自然観察会「ガーネット採集」
6/10	兎森山の自然観察会
6/16	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/17	自然観察会「市内樹木探訪」
8/5	親子教室「ちびっこ民俗村探検隊」
9/23・9/24	みちのく民俗村まつり
11/10	年中行事再現「コト八日」
12/15	年中行事再現「年縄づくり」
1/13	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/9	年中行事再現「コト八日」
2/11	自然観察会「伊豆沼の渡り鳥たち」
平成14年度 (2002)	
4/27	自然観察会「市内の桜を訪ねて」
5/5	年中行事再現「五月節句」
5/26	歴史探訪会「東北の観音靈地を訪ねて3」
6/8	郷土の自然探索会①「夏油高原・兎森山の自然探索」
6/15	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/23	自然観察会「貝類の化石観察」
6/29	博物館交流「海辺の生物観察会」
7/20	郷土の自然探索会②「駒ヶ岳の自然探索」
8/31	郷土の自然探索会③「横川目・月山の自然探索」
9/22・9/23	みちのく民俗村まつり
9/28	郷土の自然探索会④「口内町・明神岳の自然探索」
10/12	郷土の自然探索会⑤「丸子峠の自然探索」
11/9	年中行事再現「コト八日」
12/14	年中行事再現「年縄づくり」
1/12	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/2	冬の自然観察会
2/8	年中行事再現「コト八日」
平成15年度 (2003)	
4/26	郷土の自然探索会①「国見山縦走」
5/5	年中行事再現「五月節句」
5/18	歴史探訪会「古代・中世城郭を訪ねて1」
5/25～9/21	草笛伝習会（全5回）
6/7	郷土の自然探索会②「菱内川流域の自然を探る」
6/14	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/22	自然観察会「瀬美温泉周辺の地質観察」
7/26	縄文体験教室①「土器作り」
7/27	縄文体験教室②「勾玉作り」
8/2	縄文体験教室③「アンギン体験」
8/2	郷土の自然探索会③「口内の金峰山」
8/9	縄文体験教室④「火起こし体験」
9/27・9/28	みちのく民俗村まつり

10/11	郷土の自然探索会④「羽黒山・羽山の自然探索」
11/8	年中行事再現「コト八日」
12/6	年中行事再現「年縄づくり」
12/13	郷土の自然探索会⑤「宮古市津軽石川の自然探索」
1/10	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/7	年中行事再現「コト八日」
2/28	郷土の自然探索会⑥「国見山（大平山）周辺のアニマルトラッキング」
平成16年度 (2004)	
4/18	郷土の自然探索会①「黒岩の雷神山」
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/15	郷土の自然探索会②「外籠沢（瀬美温泉）」
5/23	歴史探訪会「古代・中世城郭を訪ねて2」
5/26	みちのく民俗村ネイチャーウォーキング
5/26	みちのく民俗村ガイドツアー
6/6	地質観察会
6/12	年中行事再現「馬っこつなぎ」
7/10	郷土の自然探索会③「更木 北上川三日月湖周辺」
7/25	縄文体験講座「まが玉づくり」
7/31・8/1	小学生宿泊体験事業
8/1	草笛会
9/25・9/26	みちのく民俗村まつり
10/2	郷土の自然探索会④「仙人山周辺の自然を探る」
11/6	年中行事再現「コト八日」
12/6	郷土の自然探索会⑤「広田半島周辺の自然」
12/11	年中行事再現「年縄づくり」
1/15	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/5	年中行事再現「コト八日」
2/11	郷土の自然探索会⑥「冬の水鳥観察」
平成17年度 (2005)	
4/16	郷土の自然探索会①「水乞山、雷神峠の自然を探る」
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/14	郷土の自然探索会②「和賀町羽黒山から羽山周辺について」
5/21	歴史探訪会「古代・中世城郭を訪ねて3」
6/4	郷土の自然探索会③「入畠ダム～三角沼周辺の自然」
6/11	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/18	地質観察会「海の貝化石観察」
7/2	民俗学講座①「様々な婚姻儀礼—日本の婚姻の移り変わりと多様性—」
7/8	郷土の自然探索会④「和賀駒ヶ岳周辺の自然」
7/23	民俗学講座②「民間信仰—隠し念仏の世界—」
7/30・7/31・8/6	夏の工作教室「勾玉、梯子下り、変わり屏風作り」

8/6	民俗学講座③「古今東西にみる葬送儀礼」
9/24・9/25	みちのく民俗村まつり
10/11	郷土の自然探索会⑤「うさぎ平周辺の自然観察」
10/22	遺跡探訪会「市内の古代寺院跡を訪ねて」
11/5	年中行事再現「コト八日」
12/10	年中行事再現「年縄づくり」
12/14	郷土の自然探索会⑥「自然科学系博物館との交流」
12/23・1/7	冬の工作教室「からくりおもちゃ管人形、勾玉作り」
1/15	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/4	年中行事再現「コト八日」
平成18年度 (2006)	
4/15	郷土の自然探索会①「早春の里山の植物を見学」
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/7	村の語り小屋
5/13	郷土の自然探索会②「水上牧野周辺の自然散策」
5/26	地質観察会「釜石鉱山の鉱物および鉄の歴史館見学」
6/10	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/12	郷土の自然探索会③「旧お駒参道を歩く」
7/23・7/29・8/5	夏の工作教室「勾玉・万華鏡・からくりおもちゃづくり」
9/10	郷土の自然探索会④「初秋の女神山登山」
9/23・9/24	みちのく民俗村まつり
10/24	郷土の自然探索会⑤「紅葉の北本内川上流域」
10/28	史跡探訪会「伊達・南部の藩境塙を訪ねて」
10/28	民俗学講座①「森口多里の写真でみる北上」
11/4	民俗学講座②「死者の肖像～岩手県中部の事例から～」
11/4	年中行事再現「コト八日」
11/25	民俗学講座③「山と祈り～祖靈の山・ハヤマ」
12/9	年中行事再現「年縄づくり」
12/16	郷土の自然探索会⑥「県南地方の自然科学施設見学」
12/23・1/6	冬の工作教室「勾玉・からくりおもちゃづくり」
1/13	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/3	年中行事再現「コト八日」
平成19年度 (2007)	
4/14	郷土の自然探索会①「口内町愛宕山、明神岳周辺の自然探索」
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/6	村の語り小屋
5/12	郷土の自然探索会②「春の大清水、大谷地周辺の自然探索」
6/11	年中行事再現「コト八日」
7/30	年中行事再現「年縄づくり」
8/23	民俗学講座②「死者の肖像～岩手県中部の事例から～」
8/30	年中行事再現「コト八日」
9/6	民俗学講座③「山と祈り～祖靈の山・ハヤマ」
9/21	年中行事再現「年縄づくり」
10/4	博物館文化講座③「明治新制下の岩手—幕末期の盛岡藩制から近代岩手県の勧業政策の展開へ—」
10/25	博物館文化講座④「藩境塙史跡を訪ねて3」
11/8	博物館文化講座⑤「伊達政宗と和賀一族」
12/13	年中行事再現「コト八日」
12/23	年中行事再現「年縄づくり」
1/10	冬の工作教室「ペットボトルで万華鏡を作ろう」
2/7	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
平成20年度 (2008)	
4/6	郷土の自然探索会①「東海道を歩く」
4/20	郷土の自然探索会②「ミズバショウ観察」
5/4	村の語り小屋
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/7	郷土の自然探索会③「イワウチワ観察会」
6/8	郷土の自然探索会④「麓山・真木沢周辺の自然と歴史を訪ねて」
6/11	年中行事再現「馬っこつなぎ」
7/30	夏の工作教室「忍び駒作り」
8/23	博物館文化講座①「北上川流域の古民家とその暮らし」
8/30	博物館文化講座②「古都巡礼—中尊寺・毛越寺の古仏を訪ねて—」
9/6	みちのく民俗村まつり
9/21	郷土の自然探索会⑤「北上市内の清水めぐり」
10/4	博物館文化講座③「明治新制下の岩手—幕末期の盛岡藩制から近代岩手県の勧業政策の展開へ—」
10/25	博物館文化講座④「藩境塙史跡を訪ねて3」
11/8	博物館文化講座⑤「伊達政宗と和賀一族」
12/13	年中行事再現「コト八日」
12/23	年中行事再現「年縄づくり」
1/10	冬の工作教室「ペットボトルで万華鏡を作ろう」
2/7	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」



平成21年度 (2009)	
4/12	郷土の自然探索会①「口内新田の早池峰山の史跡と自然探索」
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/6	村の語り小屋
5/10	郷土の自然探索会②「和賀町藤根地区の清水めぐり」
6/13	年中行事再現「馬っこつなぎ」
7/12	郷土の自然探索会④「牛形山登山(夏油)」
7/25	夏の工作教室「和紙づくり」
8/22	博物館文化講座①「奥州藤原氏時代の北上盆地～遺跡と出土遺物から見える姿」
9/5	みちのく民俗村まつり
9/12	博物館文化講座②「雑書からみる盛岡藩～宝暦の飢饉への対応と農民の暮らし」
9/19	博物館文化講座③「高度経済成長と儀礼の変化～誕生から死まで」
9/26	博物館文化講座④「仙台地方の正月飾りと伝承切紙」
9/27	郷土の自然探索会⑤「奥州街道を歩く(相去町～二子町)」
10/3	博物館文化講座⑤「北上川の水運史跡を訪ねて」
11/7	年中行事再現「コト八日」
11/21	フォーラム「森口多里とともに」(岩手大学アートフォーラムとの共催)
12/12	年中行事再現「年縄づくり」
1/10	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/6	年中行事再現「コト八日」
※郷土の自然探索会③「夏油の三角沼の自然探索」は雨天のため中止	
※冬の工作教室「ろうそくづくり」は新型インフルエンザ対策により中止	

平成22年度 (2010)	
4/18	国見山の自然探索会①「雑木林のしくみを調べる」
4/29	村の語り小屋
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/9	国見山の自然探索会②「国見山の草木を調べる」
5/16	集まれ！民俗村田んぼファミリー①「田植え」
6/12	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/13	国見山の自然探索会③「国見山の樹木、つる植物を調べる」
6/27	集まれ！民俗村田んぼファミリー②「草とり」
7/10	夏の工作教室「牛乳パックで帆船づくり」
7/11	国見山の自然探索会④「国見山の成り立ちを探る」
9/11	みちのく民俗村まつり
9/19	集まれ！民俗村田んぼファミリー③「稻刈り」

平成23年度 (2011)	
10/2	歴史探訪会「菅江真澄の足跡を訪ねて」
10/3	集まれ！民俗村田んぼファミリー④「稻こき」
10/16	民俗探訪会「願いのかたちを訪ね歩く」
10/24	国見山の自然探索会⑤「国見山の仏教文化を訪ねて」
11/6	年中行事再現「コト八日」
11/13	集まれ！民俗村田んぼファミリー⑤「収穫祭」
12/11	年中行事再現「年縄づくり」
12/23	冬の工作教室「昔のおもちゃ作り～ふしぎからくり屏風をつくろう！」
1/15	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/5	年中行事再現「コト八日」
平成24年度 (2012)	
4/30	自然探索会①「市内のミズバショウを訪ねて」
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/7	自然探索会②「早春の羽黒山、湯殿山縦走路を歩く」
5/25	集まれ！民俗村田んぼファミリー①「田植え」
6/11	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/19	集まれ！民俗村田んぼファミリー②「草取り」
6/25	夏の工作教室Ⅰ「くるくる回る紙つばめ」
7/2	歴史探訪会①「古代の城柵を歩く」
8/20	夏の工作教室Ⅱ「あんどんづくり」「ぱくぱくかえる」
9/3・9/4	みちのく民俗村まつり
10/15	歴史探訪会②「南部藩の舟運史跡を訪ねて」
10/29	自然探索会③「尻平川源流【八方山】の自然探索会」
11/12	年中行事再現「コト八日」
11/13	集まれ！民俗村田んぼファミリー④「稻こき・収穫祭」
12/10	年中行事再現「年縄づくり」
12/23	冬の工作教室「七色クジヤクをつくろう」
1/14	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/4	年中行事再現「コト八日」
※集まれ！民俗村田んぼファミリー③「稻刈り」は悪天候のため中止	

平成25年度 (2013)	
4/20	自然探索会①「国見山のカタクリ群生地巡り」
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/18	自然探索会②「白木峠のユキツバキ群生地観察」
5/26	集まれ！民俗村田んぼファミリー①「田植え」
6/15	自然探索会③「下江釣子の湧水(すず)巡り」
6/15	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/22	集まれ！民俗村田んぼファミリー②「草取り」
7/13	民俗探訪会①「山の暮らしを訪ねて」
7/27	工作教室(夏季)「紙でつくる！ひこうき＆スーパー」
9/7	みちのく民俗村まつり
9/28	集まれ！民俗村田んぼファミリー③「稻刈り」
10/12	集まれ！民俗村田んぼファミリー④「稻こき」
10/19	歴史探訪会①「古代の寺院跡を訪ねて1」
10/26	歴史探訪会②「古代の寺院跡を訪ねて2」
11/2	年中行事再現「コト八日」
11/4	集まれ！民俗村田んぼファミリー⑤「収穫祭」
12/7	年中行事再現「年縄づくり」
12/21	工作教室(冬季)「お正月を迎える飾りをつくろう！」
1/11	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/8	年中行事再現「コト八日」
2/22	民俗探訪会②「宿場のお雛さまを訪ねて」

平成26年度 (2014)	
5/5	年中行事再現「五月節供」
5/25	集まれ！民俗村田んぼファミリー①「田植え」
6/14	年中行事再現「馬っこつなぎ」
6/15	民俗探訪会①「お田植えまつりを訪ねて」
6/22	集まれ！民俗村田んぼファミリー②「草取り」
7/12	工作教室(夏季)「夏にぴったり オリジナルふうりん」
7/14・7/21	自然探索会②「西和賀町の南本内岳」
9/20	集まれ！民俗村田んぼファミリー③「稻刈り」
10/13	集まれ！民俗村田んぼファミリー④「稻こき」
10/18	自然探索会③「西和賀町の秀衡街道を歩く」
11/8	歴史探訪会「国見山廃寺をとりまく古代の仏像たち(江刺郡編)」
11/8	年中行事再現「コト八日」
12/13	年中行事再現「年縄づくり」
12/20	工作教室(冬季)「ミニ門松づくり」
1/10	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/7	年中行事再現「コト八日」
※自然探索会①「和賀町横川目の月山」は悪天候のため中止	
平成27年度 (2015)	
4/25	自然探索会①「口内の麓山と金峰山巡り」
5/5	年中行事再現「五月節供」
6/6	自然探索会②「横川目の月山登山」
6/13	年中行事再現「馬っこつなぎ」
7/12	工作教室(夏季)「ペットボトルで星座早見表を作ろう」
9/19	自然探索会③「和賀駒ヶ岳」
10/31	歴史探訪会「国見山廃寺をとりまく古代の仏像たち(和賀郡編)」
11/7	年中行事再現「コト八日」
12/12	年中行事再現「年縄づくり」
12/19	工作教室(冬季)「縄文時代のおやつ作り」
1/9	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
2/6	年中行事再現「コト八日」
平成28年度 (2016)	
4/16	郷土の自然探索会①「あづま海道を歩く」
5/5	年中行事再現「五月節供」
6/13	年中行事再現「馬っこつなぎ」
10/29・10/30	リニューアル記念特別解説会「国見山廃寺の謎に迫る」
11/7	年中行事再現「コト八日」
12/12	年中行事再現「年縄づくり」
1/9	年中行事再現「ミズキダンゴづくり」
1/15～2/18	博物館を6倍楽しむ方法(期間中全6回)



2/6 年中行事再現「コト八日」
3/4 国見山廃寺の堂塔復元を楽しむ集まり
※自然探索会②「ヒメボタル観察会」、③「三角沼」は探索地
周辺で熊の出没情報が相次いだことにより中止

平成29年度（2017）

4/23 郷土の自然探索会①「ザゼンソウとミツガシワ観察会」
5/18 國際博物館の日記念解説会
5/21 郷土の自然探索会②「鈴鴨川流域の自然観察会」
7/29 親子工作教室「水玉顕微鏡をつくろう」
8/17 歴史探訪会①「祈りのかたちを訪ねて」
10/14 歴史探訪会②「北上川舟運史跡を訪ねて」
10/15 「国見山廃寺と周辺の寺院跡」関連講座
「安倍の鏡を語るつどい」
1/21～2/25 博物館を6倍楽しむ方法（期間中全6回）
2/18・3/4 春の人形展関連講座「簡単！ひなかざり クラフト体験」

平成30年度（2018）

4/15・4/30 「會田コレクションと岩手ゆかりの刀剣展」関連イベント①刀剣基礎講座と研磨実演・ギャラリートーク
4/30 「會田コレクションと岩手ゆかりの刀剣展」関連イベント②ナイトミュージアムコンサートvol.1
7/29 親子工作教室（夏）①「土器片型クッキー」「ドッキー」づくり
8/6・8/18 親子工作教室（夏）②「鬼瓦と竜頭のオーリナルキーホルダーブルーリー」
8/26・9/2 「慶念坊とその時代」関連講座「慶念坊を学ぶ会」
10/7 「北の現代刀展」関連イベント①刀剣研磨実演とギャラリートーク
10/27 「北の現代刀展」関連イベント②刀製作実演とギャラリートーク
10/27 「北の現代刀展」関連イベント③ナイトミュージアムコンサートvol.2
10/28 「北の現代刀展」関連イベント④居合演武
10/28 「北の現代刀展」関連イベント⑤刀入門講座
10/28 「北の現代刀展」関連イベント⑥鍛冶実演
11/4 「北の現代刀展」関連イベント⑦刀剣研磨実演と刀手入れ講座、相談会
12/9 親子工作教室（冬）「ろうで作ろう！光る鉱石」
1/20～2/24 博物館を6倍楽しむ方法（期間中全6回）
2/23・3/2・3/3 「春の人形展」関連講座「おひなさまの前でお琴を弾いてみよう！」

平成31年度・令和元年度（2019）

4/14 「境界の刀剣」関連イベント①研磨実演とギャラリートーク

5/3 「境界の刀剣」関連イベント②入門講座とギャラリートーク
8/3 夏の親子工作教室「ちぎって貼って！ミニうちわ」
9/28・9/29 「北上川舟運と海一つなぐ、広がる、時代を超えて」関連講座①探訪会「川から海へ！」
自然探索会「秋の生き物観察会」
「北上川舟運と海一つなぐ、広がる、時代を超えて」関連講座②兼平賢治氏講演会

10/5 「北上川舟運と海一つなぐ、広がる、時代を超えて」関連講座③フォーラム「北上川舟運を語る」
10/13 「北上川舟運と海一つなぐ、広がる、時代を超えて」関連講座④「知力×体力？クイズ！北上川舟運」
10/20 秋の手作り講座「どんぐりのリース」
10/27 冬の親子工作教室「消しゴムはんことステンシル」
12/8 1/19～2/23 博物館を6倍楽しむ方法（期間中全6回）
※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、春の手作り講座「折り紙でつくるおひなさま」は中止

令和2年度（2020）

11/3 「蝦夷の赤い甕」関連講座①「エミシのアクセサリーをつくろう」
12/6・12/20・1/10 「蝦夷の赤い甕」関連講座③展示解説会
2/21 刀剣講座
※新型コロナウイルス感染症およびそれに伴う移動の制限などにより年間スケジュールの変更を余儀なくされ、他の講座・学習会・イベントは中止

令和3年度（2021）

6/13 「麻宮騎亜原画展【雪月桜35】」トークショー&サイン会
11/7 「国見山廃寺における建築・瓦」関連イベント「鼎談！国見山廃寺の塔を語る3人の熱き漢」
1/23～2/27 博物館を6倍楽しむ方法（期間中全6回）
※新型コロナウイルス感染症の蔓延状況を鑑み、工作教室等子ども向けの教育普及活動は中止

令和4年度（2022）

4/9 「祈りの刀」関連講座①刀身彫刻解説会
4/23 「祈りの刀」関連講座②刀剣研磨実演とギャラリートーク
4/29 「祈りの刀」関連講座③刀剣鑑賞入門講座
5/5 「祈りの刀」関連講座④五寸釘でペーパーナイフづくり
5/8 「祈りの刀」関連講座⑤中鉢美術館長特別講演会
自然探索会①「春の国見山周辺」
「祈りの刀」関連講座⑥刀身彫刻実演

7/24 「思い出の学校」関連講座①展示解説会I
8/11 「思い出の学校」関連講座②体験会「昔の教科書をみてみよう」

9/11 「思い出の学校」関連講座③展示解説会II
10/8 自然探索会②「秋の国見山周辺」
10/30 「川をはさんだ2つの宿場～江戸時代の黒沢尻と鬼柳～」関連講座①兼平賢治氏講演会「藩境を超える人と物の移動—奥州道中と北上川舟運—」
11/6 「川をはさんだ2つの宿場～江戸時代の黒沢尻と鬼柳～」関連講座②歴史探訪会「北上周辺の奥州街道を訪ねて」
11/20 「川をはさんだ2つの宿場～江戸時代の黒沢尻と鬼柳～」関連講座③中野渡一耕氏講演会「黒沢尻・鬼柳を通った人々—新市史の調査から見える宿場としての黒沢尻と鬼柳—」
1/22～2/26 博物館を6倍楽しむ方法（期間中全6回）
※子ども工作教室は中止

令和5年度（2023）

4/16 「祈りの刀」関連講座①刀剣鑑賞入門講座
4/29 「祈りの刀」関連講座②居合演武
4/29 「祈りの刀」関連講座③刀剣研磨実演
5/4 「祈りの刀」関連講座④居合演武
5/4 「祈りの刀」関連講座⑤刀剣研磨実演
5/5 「祈りの刀」関連講座⑥甲冑着用体験
5/28 「祈りの刀」関連講座⑦刀剣鑑賞入門講座
7/29 「岩間正男展」関連講座①クロストーク「岩間正男の思い出」
8/5 自然観察会「昆虫観察会」
8/6 「岩間正男展」関連講座②展示解説会
10/21 開館50周年関連事業①記念式典
10/21 開館50周年関連事業②記念シンポジウム「国見山廃寺から平泉へ～歴史をひも解く博物館の役割～」
11/26 開館50周年関連事業③記念シンポジウム「北上川舟運がつないだもの～歴史をひも解く博物館の役割～」
1/6 子ども工作教室「まるい行灯をつくろう」
1/21～2/25 博物館を6倍楽しむ方法（期間中全6回）
3/10・3/17 歴史講座「江戸時代の北上」

その他の活動

※記念誌と『博物館だより』に記録があるもの。

民俗芸能公演（平成4年度～平成26年度）

各種手仕事実演活動（昭和63年度～平成26年度）

※事業に合わせて行われたものや季節限定で行われたもの、小教室を含む。
・南部裂き織り（昭和63年度～平成26年度）
・わら細工（昭和63年度～平成26年度）
・こけし（昭和63年度～平成17年度）
・炭焼き（平成元年度～平成2年度）
・木杓子（平2年度～平成9年度）
・わら馬（平成2年度）
・節句菓子（平成2年度）
・こけしの絵付け（平成3年度）
・くくり雛（平成3年度）
・伝統の菓子（平成3年度）
・南部桐下駄（平成5年度～平成11年度）
・六原張りこ（平成6年度）
・附馬牛人形（平成7年度）
・桶（平成7年度～平成11年度）
・鬼剣舞面（平成8年度～平成11年度・平成13年度～平成17年度）
・竹細工（平成8年度～平成12年度）
・木工（平成8年度）
・張り子面（平成12年度）
・花巻傘（平成12年度～平成17年度）
・南部絵馬（平成14年度）
・印章（平成14年度）

博物館実習生受け入れ

講師派遣

出前講座や、地域・学校で開催する各種学習活動への支援

中学生職場体験学習生受け入れ

インターンシップ生受け入れ



刊行物一覧

令和6年(2024)11月現在

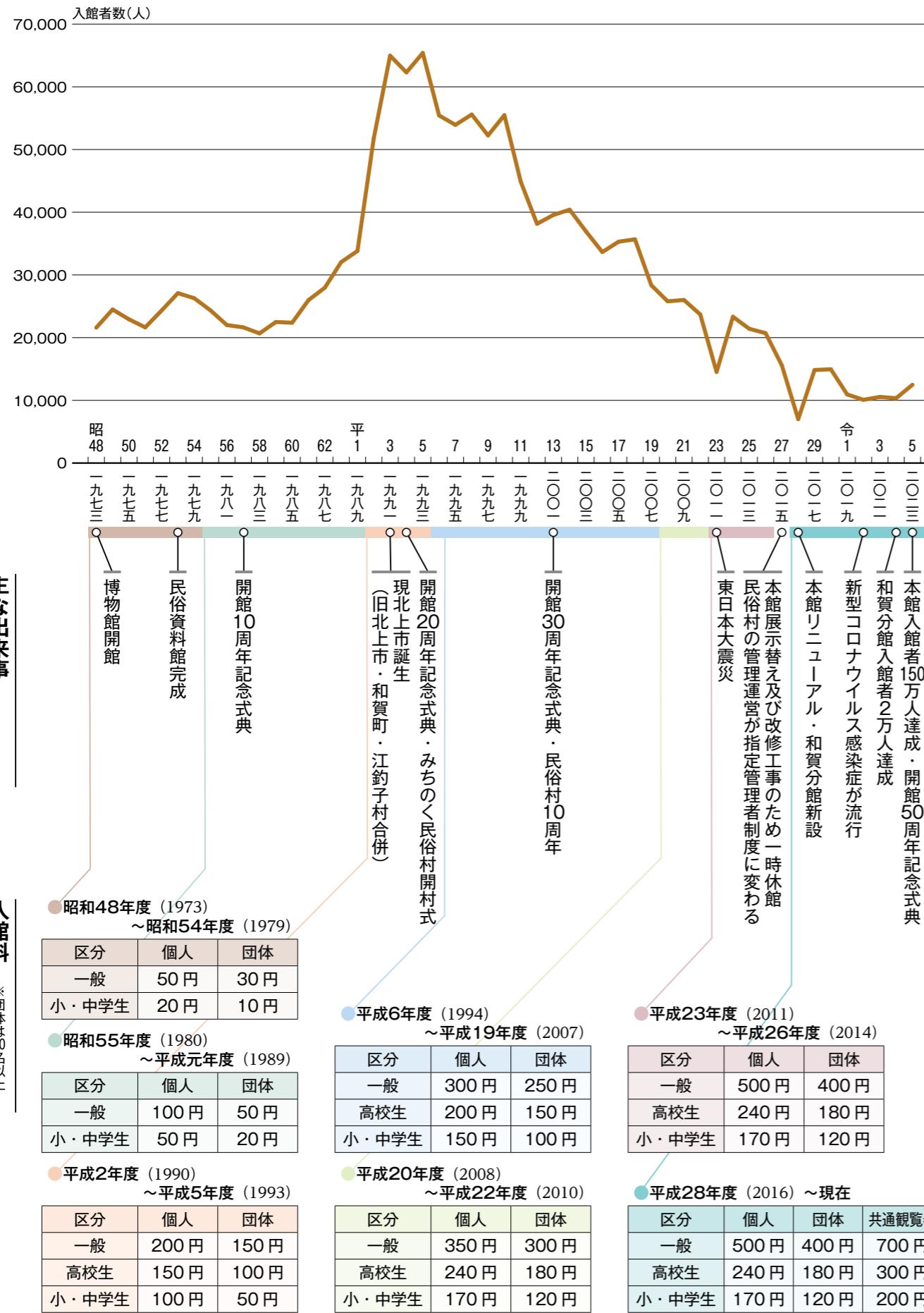
図書名	発行年月
北上川流域の自然と文化シリーズ (1) 川の生きもの	昭54(1979). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (2) さくらとやなぎ	昭55(1980). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (3) 郷土のおいたち—地質時代	昭56(1981). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (4) 北上川の魚とり	昭57(1982). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (5) 北上川の水運	昭58(1983). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (6) 繩文人の祈り—樺山・八天・九年橋—	昭59(1984). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (7) 国見山とその周辺の植物	昭60(1985). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (8) 平泉に先立つ古代仏教の拠点 国見山極楽寺	昭61(1986). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (9) 北上川の伝説	昭62(1987). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (10) 日高見のまつり	昭63(1988). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (11) 北上の帰化植物	平1(1989). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (12) 南部と伊達の境争い	平2(1990). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (13) きたかみの古仏	平3(1991). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (14) みちのく民俗村にみた北上川流域の民家とその発達	平4(1992). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (15) きたかみ民俗散歩	平6(1994). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (16) 和賀一族の興亡 (前編) 一族の隆盛と相剋—平安・鎌倉・南北朝時代	平7(1995). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (17) 和賀一族の興亡 (後編) 亂世と一族の流転—室町・安土桃山・江戸時代	平8(1996). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (18) 民俗村の植物	平9(1997). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (19) 江釣子古墳群とその時代—古代北東北の自立と個性への道—	平10(1998). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (20) 地質展示室の 鉱物・岩石・化石	平11(1999). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (21) 和賀一族の興亡 (総集編) 岐路の世界と一所懸命の拠点—城館の時代	平12(2000). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (22) 北上市内の指定木・保存木	平13(2001). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (23) 郷土のおいたち—地質時代統編	平14(2002). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (24) 北上地方の水田開発史 (前編) 一江戸時代における奥寺新田以前の開発—	平15(2003). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (25) 北上地方の水田開発史 (中編) 一伊達藩の新田開発 胆沢・江刺郡を中心に—	平16(2004). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (26) 北上地方の水田開発史 (後編) 一南部藩の新田開発 和賀・稗貫郡を中心に—	平17(2005). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (27) 菅江真澄と北上地方一日記「けふのせば布」と「岩手の山」を読む—	平18(2006). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (28) 花巻人形とその型	平20(2008). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (29) 北上と日本のセミ・せみ・蟬	平21(2009). 7
北上川流域の自然と文化シリーズ (30) 史料が語る和賀氏の時代	平24(2012). 3
北上川流域の自然と文化シリーズ (31) 北上川水系の淡水産貝類	平26(2014). 3
北上市立博物館研究報告第1号	昭50(1975). 4
北上市立博物館研究報告第2号	昭52(1977). 3
北上市立博物館研究報告第3号	昭55(1980). 8
北上市立博物館研究報告第4号	昭58(1983). 3
北上市立博物館研究報告第5号	昭60(1985). 3
北上市立博物館研究報告第6号	昭62(1987). 3
北上市立博物館研究報告第7号	平1(1989). 3
北上市立博物館研究報告第8号	平3(1991). 3
北上市立博物館研究報告第9号	平5(1993). 5
北上市立博物館研究報告第10号	平7(1995). 3
北上市立博物館研究報告第11号	平9(1997). 3
北上市立博物館研究報告第12号	平11(1999). 3
北上市立博物館研究報告第13号	平13(2001). 3
北上市立博物館研究報告第14号	平15(2003). 3
北上市立博物館研究報告第15号	平17(2005). 3
北上市立博物館研究報告第16号	平19(2007). 3
北上市立博物館研究報告第17号	平21(2009). 3
北上市立博物館研究報告第18号	平23(2011). 3
北上市立博物館研究報告第19号	平25(2013). 3
北上市立博物館研究報告第20号	平27(2015). 3
北上市立博物館研究報告第21号	平31(2019). 3
北上市立博物館研究報告第22号	令3(2021). 3
北上市立博物館研究報告第23号	令5(2023). 3
北上市立博物館調査報告書第一集 旧大泉家住宅復原修理報告書	平9(1997). 3
北上市立博物館調査報告書第二集 旧菅原家住宅復原修理報告書	平10(1998). 3
北上市立博物館調査報告書第三集 旧佐々木家住宅復原修理報告書	平11(1999). 3

図書名	発行年月
北上市立博物館調査報告書第四集 旧北川家住宅復原修理報告書	平12(2000). 3
北上市立博物館調査報告書第五集 旧仙台藩寺坂番所 (旧新田家主屋)・旧修驗宝珠院 (旧千葉家) 道場復原修理報告書	平13(2001). 6
北上市立博物館調査報告書第六集 旧今野家住宅復原修理報告書	平15(2003). 3
北上市立博物館調査報告書第七集 旧小野寺家住宅・旧星川家住宅・旧菅原家住宅復原修理報告書	平17(2005). 3
特別展図録 岩手県に於ける北上川流域の土偶	昭55(1980). 9
収蔵資料図録 岩手の化石	昭56(1981). 8
特別展図録 黒岩旧白山寺遺宝展・北上の修驗道資料展	昭57(1982). 9
特別展図録 祈りの伝承切り紙—東北地方を中心に—	昭58(1983). 9
特別展図録 岩手における出土古銭展	昭58(1983). 10
特別展図録 北上・和賀地方の山菜 (I)	昭59(1984). 5
特別展図録 岩手のおもちゃ展	昭59(1984). 7
特別展図録 北上・和賀地方の山菜 (II)	昭60(1985). 4
特別展図録 北上・和賀地方の絵馬展	昭60(1985). 10
特別展図録 北上・和賀地方の山菜	昭63(1988). 3
特別展図録 岩手のわら人形	平2(1990). 9
特別展図録 戦後50年の北上を考える歴史資料展	平7(1995). 7
特別展図録 陸奥国駒形神—駒形信仰と駒形神社—	平8(1996). 7
特別展図録 十月仏 まいりの仏	平9(1997). 8
特別展図録 北上地方のオシラサマ	平10(1998). 8
特別展図録 北の下駄	平11(1999). 8
特別展図録 出土陶磁器からみた和賀氏の時代	平12(2000). 9
特別展図録 20世紀のくらし展	平13(2001). 8
特別展図録 修驗道資料展—道具に見るその祈り—	平14(2002). 9
特別展図録 修驗道資料展—明王像その祈り—	平15(2003). 9
企画展図録 北上の女子中等教育—良妻賢母の担い手を育成—	平16(2004). 8
企画展図録 昔の計量器「升と秤」	平17(2005). 8
企画展図録 北上のチョウ	平17(2005). 8
企画展図録 ため池の生きもの	平18(2006). 8
企画展図録 北上のトンボ	平19(2007). 7
企画展図録 布と仕事着	平19(2007). 9
企画展図録 北上の清水物語	平20(2008). 9
企画展図録 南部領伊達領境塚展	平21(2009). 9
企画展図録 北上市西部域の自然	平22(2010). 9
企画展図録 南部藩の北上川舟運と黒沢尻河岸	平23(2011). 8
企画展図録 世界のカブト・クワガタ大集合	平24(2012)
企画展図録 民俗村の民家を楽しむ	平24(2012). 8
企画展図録 国見山魔寺跡展—平泉文化に先立つ仏教文化の世界—	平25(2013). 8
特別展図録 国見山魔寺と周辺の寺院跡—先平泉文化の謎を探る—	平29(2017). 9
特別展図録 慶念坊とその時代	平30(2018). 7
特別展図録 北上川舟運と海つなぐ、広がる、時代を超えて—	令1(2019). 9
特別展図録 蝦夷の赤い甕—最強の蝦夷は和賀川にいた—	令2(2020). 11
特別展図録 麻宮騎亜原画展 雪月桜35	令3(2021). 4
特別展図録 国見山魔寺における建築・瓦—特徴的な建築物や瓦についての研究成果—	令3(2021). 10
企画展図録 祈りの刀	令4(2022). 3
特別展図録 川をはさんだ2つの宿場—江戸時代の黒沢尻と鬼柳—	令4(2022). 10
企画展資料解説書 郷土の画人・菅原黒川	令4(2022). 10
特別展図録 北上線100周年記念 仙人鉄山展	令6(2024). 10
北上市立博物館展示解説と図録 北上川流域の自然と生活の歴史	昭53(1978). 3
北上市立博物館常設展示解説[歴史の部] 北上川とその流域に生きた人々	昭61(1986). 3
北上市立博物館常設展示解説図録 きたかみの歴史	平29(2017). 3
国見山周辺の自然かんさつ (国見山自然観察ガイド改題)	平6(1994). 3
みちのく民俗村ガイドブック	
きたかみすずめぐり	平20(2008). 9
むがしご語るべ	平1(1989). 10
博物館開館20周年・みちのく民俗村開村記念誌 北上市立博物館20年のあゆみ	平4(1992). 10
博物館開館30周年・みちのく民俗村開村10周年記念誌 溫故知新	平13(2001). 9
とのさま藩境で大いに語る—温故知新・21世紀の地域連携に歴史を盛ろう—	平13(2001). 9

※現在取り扱っていない図書もあります。※この他、年に一度『博物館だより』を発行しています。



北上市立博物館50年の入館者動向



入館者数

昭和48年度 (1973) ~ 昭和52年度 (1977)

年度	有料		無料	計
	一般	小中学生		
昭和48年度 (1973)	13,384	4,998	3,216	21,598
昭和49年度 (1974)	14,572	6,554	3,360	24,486
昭和50年度 (1975)	11,599	8,527	2,799	22,925
昭和51年度 (1976)	11,992	6,388	3,261	21,641
昭和52年度 (1977)	13,188	7,737	3,396	24,321

昭和53年度 (1978) ~ 平成元年度 (1989)

年度	有料		無料		計
	一般	小中学生	一般	小中学生	
昭和53年度 (1978)	14,962	3,588	3,697	4,846	27,093
昭和54年度 (1979)	13,271	3,488	4,969	4,559	26,287
昭和55年度 (1980)	12,426	3,146	4,158	4,609	24,339
昭和56年度 (1981)	11,143	2,757	4,718	3,387	22,005
昭和57年度 (1982)	11,552	2,684	2,733	4,674	21,643
昭和58年度 (1983)	9,886	2,282	4,229	4,280	20,677
昭和59年度 (1984)	11,261	2,566	4,568	4,098	22,493
昭和60年度 (1985)	10,839	2,657	4,605	4,279	22,380
昭和61年度 (1986)	13,793	3,339	4,665	4,188	25,985
昭和62年度 (1987)	16,039	3,285	4,386	4,253	27,963
昭和63年度 (1988)	18,906	3,958	4,833	4,344	32,041
平成元年度 (1989)	19,882	3,892	5,703	4,341	33,818

平成2年度 (1990) ~ 令和5年度 (2023)

年度	有料		無料		計
	一般	小中高	一般	小中高	
平成2年度 (1990)	35,496	4,932	7,380	3,995	51,803
平成3年度 (1991)	43,966	6,028	11,156	3,817	64,967
平成4年度 (1992)	38,180	5,371	13,517	5,229	62,297
平成5年度 (1993)	42,459	6,191	10,995	5,759	65,404
平成6年度 (1994)	35,509	5,387	9,654	4,879	55,429
平成7年度 (1995)	33,925	5,761	10,199	4,045	53,930
平成8年度 (1996)	34,585	5,097	11,663	4,237	55,582
平成9年度 (1997)	29,746	5,069	13,235	4,198	52,248
平成10年度 (1998)	35,822	3,806	12,782	3,069	55,479
平成11年度 (1999)	26,425	3,574	11,983	2,915	44,897
平成12年度 (2000)	23,994	3,413	7,805	2,939	38,151
平成13年度 (2001)	22,927	2,650	10,079	3,906	39,562
平成14年度 (2002)	21,581	2,223	12,044	4,554	40,402
平成15年度 (2003)	20,518	2,190	11,475	2,755	36,938
平成16年度 (2004)	18,097	1,591	10,605	3,357	33,650



これからに向け

本誌の編集を通して、それぞれの時代の中で多くの皆さんに支えられながら、あるべき姿を模索してきた50年であることを、まずは職員自身が再認識する機会となりました。

本誌をご覧いただくと、日本全体の経済成長とともに展開した時期、変化が求められて深化していく時期など、当館の歩みも時代の流れとともにあったことがうかがえるかと思います。

当市の特徴のひとつとして、人や新しい事柄を積極的に受け入れる進取の気風がしばしば挙げられます。その淵源には、江戸時代の北上川舟運をはじめ、人やモノが行きかう交通の要地として発展してきた歴史があるはずです。こうした背景を踏まえて、当館では長らく「北上川流域の自然と文化」をテーマに掲げてきました。学芸活動の一端をみると、北上川流域の土偶展や南部氏と伊達氏の居城め

ぐり、冊子「北上川流域の自然と文化シリーズ」全31号の刊行など、市内外の事象から郷土をより深く理解していこうとしてきたことがわかります。このような視野を広くもった取り組みにも、当市の特徴が表れているように思います。

当館が新たな一歩を踏み出した令和6年度現在の社会では、デジタル技術が急速な勢いで浸透し、そこから革新が求められる時代となっています。100周年を迎える頃、社会状況はどのようにになっているのでしょうか。いつの時代においても、郷土に大きな誇りをもてる場所となっているよう、一層の努力をしていかなければなりません。

確かな積み重ねをしていけるよう、職員一同、研鑽してまいりますので、今後とも皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

北上市立博物館館長 渋谷 洋祐

※なお、令和6年11月刊行の「博物館研究」（Vol.59 No.11 通巻678号）で「北上市立博物館50年の歩みから」と題した東北支部情報が掲載され、多くの博物館関係者に当館50年の歩みを知ってもらう機会となったことを追記いたします。

北上市立博物館50周年記念誌

発行年月日 令和7年3月28日

編集・発行 北上市立博物館
〒024-0043 岩手県北上市立花14-59
TEL (0197) 64-1756

印 刷 川嶋印刷株式会社

